各種社會問題之研究

滿洲之社會

佳節號

第叁卷第叁號

滿洲社會事業研究會

南滿洲鐵道株式會社

鐵道

營業哩數（滿洲線 一、六八六哩 朝鮮線 一、一二二哩）

當社線主要驛と內地支那鐵道主要驛と鮮滿支間往復、週遊、巡遊のため船車連絡割引の便宜あり

埠頭及倉庫

大連、營口、安東、上海の各地には埠頭の設備と共に一般倉庫業をも營む

直營旅館

朝鮮

京城、朝鮮ホテル
釜山 新義州）停車場ホテル
金剛山、長安寺及避暑ホテル（自六月至十月）溫井里

滿洲

ヤマトホテル

大連、旅順
奉天、長春
大連市外星ヶ浦

石炭

撫順炭は各種工業用炭竝船焚料炭として燃料界に雄飛し煙臺炭は無煙にして亦諸種の用途に使用せられ滿洲朝鮮は素より海外各地に於て顧客の需要に應ずる準備を有す

電氣及瓦斯

大連撫順に電氣鐵道を又大連、奉天、長春、安東、撫順に電燈事業を經營す

大連、鞍山、撫順、奉天に瓦斯事業を經營す

製鐵所及試驗場

鞍山に製鐵事業を經營し銑鐵をも產す

公主嶺に農事試驗場ありて各種農產物及び緬羊の改良をなす

大連に窯業試驗工場を有し優良なる硝子器等を製す

本社 滿洲大連市東公園町
支社 東京市麴町區永樂町丸ノ內ビルヂング內
鮮滿案內所（東京支社、大阪、下關）

満洲之社會＝第參卷第參號（大正十三年十一月發行）

●資本金　貳千萬圓
●諸積立金　貳百參拾五萬五千圓

大連市大山通十一番地

株式會社　正隆銀行

電話代表番號七二一一番
振替貯金口座大連二三〇番

頭取　安田善四郎
相談役　安田善次郎

●定期預金利子（一ケ年）七分二厘
●當行は安田貯蓄銀行の代理支店として一般貯蓄預金を御便利に取扱申候
●當行は日本內地、朝鮮、南北滿洲、支那內地に於て約二千余の爲替取引先を有し候
●當行は關東州地方費現金竝に大連市金庫事務取扱致候
●當行は臺灣銀行と特約を結び外國爲替取扱致候
支店（所在地）旅順、營口、奉天、撫順、開原、四平街、長春、鄭家屯、天津、青島
派出所（所在地）大連市小崗子（電話五三〇〇）、奉天城內

火災
海上
運送
保險

明治火災保險株式會社　千代田火災保險株式會社
東京火災保險株式會社　東京海上火災保險株式會社
日本火災保險株式會社　神戸海上運送火災保險株式會社
共同火災保險株式會社　大阪海上火災保險株式會社
横濱火災海上保險株式會社　大正海上火災保險株式會社

代理店

三井物產株式會社
大連支店

大連市山縣通一八二號地
電話　代表番號七一〇一番

建設工事
設計施工

高岡久留工務所

高岡又一郎
久留弘文

本店
大連市紀伊町二六番地（電話 四八〇七）

出張所
瓦房店新市街南大街三（電話 三〇）
鞍山北二條町一丁目（電話長 二〇八）
奉天藤浪町七番地（電話長 二九一）
撫順春日町二ノ一（電話 七八）
四平街南四條路
東京市麹町區平河町一ノ一

西洋樂器樂譜
西洋家具裝飾
水道衛生器具
輸入取次其他各種
代理業

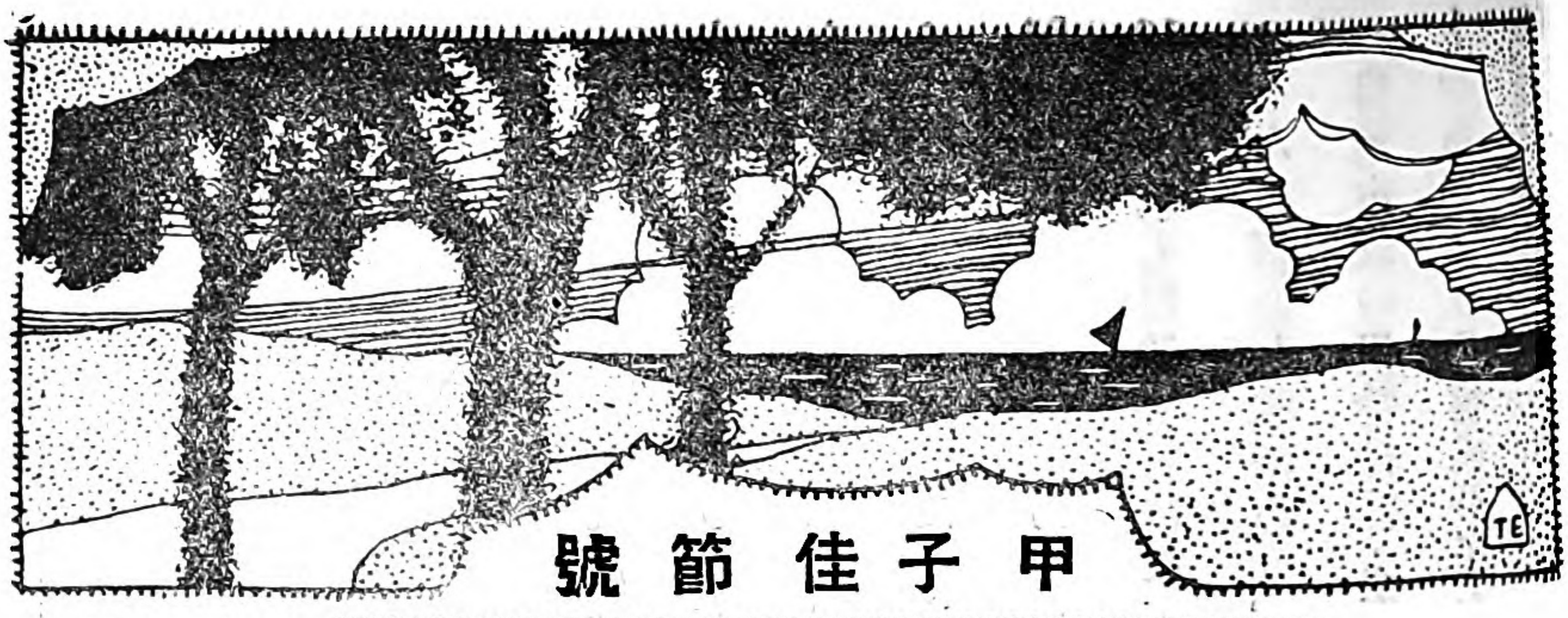
大連市信濃町

山葉洋行

電話（代表 四一四八番）（長 四一四九番）
振替口座大連二一八番

大連廿日會

大連株式信託株式會社
華東信託株式會社
大連貯金株式會社
大連信託株式會社
大連商事株式會社
滿洲信託株式會社
滿洲不動貯金株式會社
西崗信託株式會社

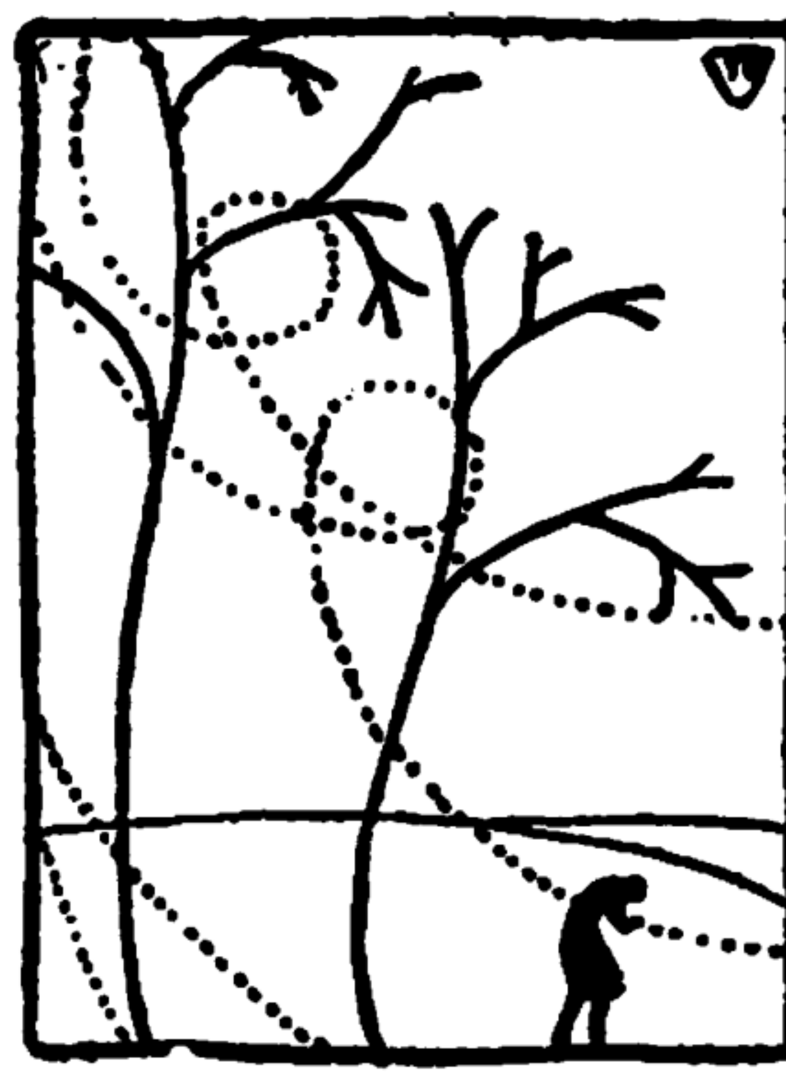


佳節と國民の深思

天長節祝日の佳辰を迎ふるに方り、帝國臣民たる吾等日本國民は、聖壽萬歳、寶祚無窮を奉祝すると共に、帝國の現在及び將來に就いて深思する所なかる可らず。一言以て掩へば、帝國の今日は、政治方面も、經濟方面も、教育、宗教、學問、藝術、その他の方面も、悉く更始一新の過渡時代に在りて動搖混亂しつゝあり。萬世一系の皇室を奉戴して君民同治の國政を燮理すべき帝國は、上下の和衷協同を鞏固にして、此際殊に善處せざる可らず。

皇室は民の父母、民は皇室の赤子といふ相愛の下に特殊の國體を成せる帝國は、政治も、經濟も、其他の萬事萬般も、總て之を中核とすべきや論を須たず。然るに歐米の物質文明と其の資本主義的經濟制度を模倣せる現在の帝國には、既に彼等諸國に起れる弊害と變化の象とが等しく現はれ、其處に種種の混亂動搖を生じ、隨つて其處にまた更始一新の已む可らざるものありて存ず。此時最も必要なるは皇道則民衆道の大義を具體化する事是なり。

萬古天皇を仰ぐ帝國の中心生命に動搖あるべき筈なく、動搖あらしむ可らざるも、時代の趨向と環境の更易に對しては佳謀善籌の必要あり。民自ら勵精努力すべきは勿論なるも、政治家、資本家、事業家等謂ゆる特權階級に属する人々は、特に此の點に思ひを致し、民のために竭すは則ち皇室のために竭す所以なりとの大理を須臾も忘却せざるやう心掛けよ。聖壽萬歳、寶祚無窮を奉祝する此の佳節吉辰に方り、帝國臣民は上下となく慮る所あれ。



自治市政と都市經營

山田芙峰

勅令を以て公布された全文四十條より成る關東州新市制は、關東廳令を以てせる施行規則に依りて、此の十一月一日から實施される。此の新市制は餘ほど進歩的のものだ。市に法人格を認めたこと、市事務の制限を撤廢したこと、支那人を除いて日本人の市會議員を全部民選としたこと、市會議長及び副議長を置いたこと、市參事會を設けたこと、市助役に任期を設け市收入役を置いたこと、是等は自治市政の本義から考ゐて固より當然な事柄であるが、日本人の居住する海外の地、朝鮮、臺灣、樺太、南洋等の植民地には、まだ此種の市制も自治も行はれて居ないのに、獨り租借地關東州にのみ母國と殆んど同様の市制が施かれたと云ふところに新らし味があり、隨つてまた進歩と目すべき點があるのだ。

自治市政の根幹は言ふ迄もなく市會である。市會は市政を統轄すべき市長を選擧し、また正副議長を選擧し、市參事會の構成分子たる名譽職參事會員をも選擧する權能を有つてゐる。而も此の市會を構成する市會議員を選擧するのは市民であつて、其處に自治の自治たる所以が存するのだから、それ丈け市會議員の選擧

が大切となるわけで、若し此の第一歩を誤れば、法制上及び形式上完全な市政も、其の實質及び内容を惡くする事にある。大連並に旅順兩市の市會議員選擧は新市制の實施期たる此の十一月一日を以て行はるゝのであるが、市民が市會議員の選擧を忽せにし、情實や姻緣によりて其の候補者に對する淸き一票を濁れる一票となさば、市政の根幹に早くも腐蝕を來たし、折角の新市制を逆轉せしむる虞がある。形式上比較的完全な此の關東州市制に血と肉と魂とを與ねて之を活かすのは一に有權者たる市民の責務であつて、其の成敗の如何は、直ちに市政の運用に影響すると同時に、萬一にも其の成績が惡ければ、海外の邦人居住地に自治市政を布くのは好くないと云ふことになり、それが植民地たる朝鮮、臺灣、樺太等にも波及し、而して其の罪は一に大連及び旅順兩市の市民たる日本人がこれを負はねばならぬ事になる。此の點から云つても、市會議員選擧といふ第一歩に向つては、市民たるもの餘ほど之を愼重にしなければならぬ。

それには亦、市民の總てが地方自治の本義と都市經營の要義とを知悉し、愛市心を深め、また智識と情操を高めて眞に自ら治め自ら活き自ら爲すといふ覺悟を有たなければならぬ。それで先づ地方自治の本義から一言しやう。或人の下した自治のデフィニーションに據れば、『自治とは地方の公共團體が法律の認めた範圍内において團體員が自ら組織し構成したる機關に依りて公費を以て種々の公共事業を處理することを云ふ』とあるが、之れは英國あたりの自治とは異なつたもので、獨逸語のゼルブスト●ワルッングの意味に該當する樣に思はれる。元來我國の地方自治は獨逸のそれに則つたもので、つまり國家行政の委任といふ事になる

が、それ丈け法制と形式との上に優つてゐて内容と實質との上に劣つた所がある。市民自らの力で築き上げた自由市を基礎としての英國あたりの自治とは同じでない。語を換へて申せばまだ十分に土臺の堅まつて居ない上に建築をしたと云ふ樣なものだ。隨つて我國の地方自治、殊にその自治市政には動もすれば則ち動搖と混亂を生じ易く、また市政の上に隨分見苦しい暗影を投げたりする。我が内地の地方自治の機關に政黨の弊が浸潤したのは此の故である。併し變則ながらも斯うして地方民及び都市民の自治心を養成し、自治力を訓練し、さうして地方自治と自治市政の發達を圖るのも惡い事ではない。

外國の事など褒めたくないが、何といつても世界中で一番能く自治の發達して居るのは英國だ。米國の紐育市政がタマニー派のボス輩に攪亂された當時のことであるが、ホーエと云ふ一米國人が自治視察のために英國に赴き、各方面を調査し、或時グラスゴー市を馬車で往來する時、その馬車の馬丁に半ば戯れに市政のことを質ねたところ、一見無學文盲らしい此の馬丁が市政のことを何から何まで知つて居て質ねもしない事まで話して聞かせたので、ホーエは大いに驚き、此の一事で英國の自治が能く行屆いてゐる理由が解つたと言つたさうだ。市民である以上、自己の集團生活に最も利害關係の深い市政のことを知るのは當然で、さうなければ成らぬのだが、我々日本人の多數は市政の内容にも運用にも餘り多くの注意を拂はず、議員選擧の時だけ騷ぎ散らし、後は吾々の代表者たる議員が宜しくやつて呉れるから可いといつた調子で、甚だ無頓着な所がある。既に無頓着だから、市政に對する智識が淺く、熱心が足らず、自治心も自治力も練れず、而し

て市民の此の無頓着と冷淡とは市政をして不知不識の間に惡化せしめ、市政の根幹たる市會に腐蝕を生ぜしむると共に市政の全體をも濁つた惡い物にしてしまう。寔に困つたものだ。一馬丁でさへも市政のことを何から何まで知つて居るといふ英國の自治に比べて何といふ霄壤の差であらう。

市政の根幹たる市會を構成する議員の選擧を愼重にするのは言ふ迄もない事だが、議員を選擧してしまへばそれで用濟み、跡は野となれ山となれと云つた調子で、市政の內容にも運用にも注意せず、その硏究をもせぬと云ふのは、地方自治の本義を沒却するの甚だしきものだ。自治市政は市民自らの集團生活に最も深い利害關係を有つて居るのだから、市民は常に市政の上に注意を拂ひ、市政の硏究を怠らぬ樣にし、其の智識を豐富にし、進んで市政を監督する樣にしなければならぬ。是れ取も直さず自治心を養成し自治力を訓練する所以だ。此の意義において私は關東州新市制實施後に紐育市の紐育市政調査會又は東京市の東京市政調査會のやうなものを少くとも大連市に設ける必要があると思つて居る。

次に都市經營のことを述べる。自治市政は都市經營その物であるからだ。都市經營の原則はグレート●グループたる都市の內容を充實し、併せて其の外觀を豐美にし、市民の生活を幸福、利便、愉快にすると共に其の向上發展を圖ることである。夫から近代都市經營の眼目はデモクラチック的で有らねばならぬ。外國の例を云ふと、希臘に於ては一時非常にデモクラチック的の都市經營が行はれた時代もあつたが、羅馬帝國が出現してから十八世紀頃迄は主として君主や貴族のためにのみ都合のいゝ都市經營が行はれ、英國に產業革

命のあつた後の十九世紀頃は主として富豪やキャプテン・オブ・インダストリー等のためにのみ便利になる都市經營が行はれた。即ちデモクラチック的であるべき都市經營がブルジョアチック的と爲つたのだ。然るに近代の都市經營は其の本來に立還つて民衆的であらねばならぬ事になつた。

それで都市經營の眼目とする所は、實用と營利を目的とする商工主義に偏せしめず、また物質偏重にならぬ樣にし、一般市民のために其の都市を物質的にも精神的にも住心地好き處とする事である。交通機關を整ね、其の交通を安全にし、敎育、衞生及び保健の設備を完全にし、電氣、瓦斯及び水道等を設備して市民生活の便利を圖ることも、固より都市經營としての要件だが、それで可いと云ふわけのものでは無く、更に慰安、娛樂、敎化の諸施設をなし、公園や、廣場や、遊步地を設け、公會堂、倶樂部、圖書館等を作り、猶ほ能ふだけ諸種の社會施設を整ねねばならぬ。都市の內容は斯うして充實されるのだ。商工主義に偏した都市經營は、都市人の利己心を煽り、都市人の心を物質的に荒ましめ、之がために犯罪や罪惡や疾病を增殖せしめる。都市は人口の過群密集する處で、之れを其の成行に放任して置けば、キング博士の言つたやうに、其の都市は人間の掃溜めとなり、掃溜めから蛆や蠅が湧く如く、種々の犯罪や疾病を生じ、都士人の身體と精神を惡化する。都市に不良少年が多いのは都市の環境が惡くて模倣性と感受性の銳い少青年に惡い感化を與ゐるからだ。不良少年ばかりでない、都市經營を過つたならば、不良壯年も、不良老年も、不良婦人も多くなるだらう。都市は一面文化の淵叢であり中心であらねばなら無いが、都市が斯うなつてしまうと、其の都

市は人生に幸福を齎さないで、却つて雜多な苦悶を與ふる。是れ都市を努めてデモクラチック的にすると同時に、種々の社會施設を整へて其の内容を充實せねばならぬ所以だ。

翻つて都市大連の現狀を觀るに、まだ齒拔けのやうな所があるけれども、道路や建物は大體において立派であり、電氣、瓦斯及び水道等の設備も整ひ、交通機關も先づ申分なしと云へるが、まだ〳〵不完全な所が非常に多い。唯一の西公園が露治時代の素地に幾らかの改造を加へた丈けで呉下の舊阿蒙といふ狀態は何うである乎。公會堂もなく、市民文庫もなく、氣の利いた市民倶樂部もなく、殊に近代都市に缺ぐべからざる社會施設の貧弱さ加減は何うである乎。之れでグレート大連市が聞いて呆れる。

關東州新市制がいよ〳〵實施されると云ふ今日、大連及び旅順の市民たる日本人は、先づ地方自治の本義を知悉し、市政の健全なる發達を圖ると同時に、都市經營の要義を理解し、何よりも先づ都市の内容を充實することに努めなくてはならぬ。市會議員に明智と事務的才能に富んだ者を擧げ、市政の根幹たる市會を堅實なものにするのは、正しく市民の責任であり義務でもあるが、更に進んで其後の市政と市政の運用に注意を拂ひ、常に市政を研究し、猶ほ都市經營の何物たるかをも領解して、自治市政と都市經營とが必ず眞善美的に並行して進むやうに努力せねばならぬ。議員選擧といふ第一歩を誤まらぬ樣にするのは勿論、議員選擧の後と雖も、直接又は間接に市會及び市理事者を鞭撻して自治市政の成績と都市經營の成果を擧げなくてはならぬ。要するに市民の總掛りで新市制に正しき魂を入るべきである。

無情社會

◆社會事業とは社會が社會の爲めに經營する事業である再合すれば社會の各成員が社會自體の爲めに共同して經營する仕事である◆勿論其の事業に直接當る所の者の責任は重いが社會の各員が之を援けず援けるも充分でなく而して唯之を是非するが如きは無責任の甚だしきものだ◆牧野法學博士は社會問題に深い理智を有する在來の法學者とは異つた人だが同博士は八月中東京府巣鴨の留岡幸助氏の家庭學校滿二十五周年記念講演會で『最後の一人の生存權』といふ極めて有益な講演をした◆其の講演の中に『夫婦の間には所有權とか契約とか云ふものが有るべきで無い權利關係とか權力關係とか云ふものが存在すべきでない家庭に所有權が事喧ましく爭はれるとき其の家庭にはモハヤ醇風美俗はない家族間に契約が事むづかしく主張されるとき其處には既に美風良俗が失はれて居る』◆と言つてそれから『其の家庭の如きがやがて吾々の今日の社會生活である』と說きそして斯樣な嚴格な几帳面な論理的な生活は唾棄すべきであると述べて現代社會の缺陷を指摘した◆個人が血族的に集團して家庭となり家庭が聯結して社會となるのだが今や社會には誤まつた個人主義が跋扈しその個人主義が家庭にまでも喰ひ込んで來た◆流石に家庭間の人情味はまだ多少保たれてゐるが家庭の延長たる社會には印度の哲人タゴールの謂ゆる人間的情味と云ふものが甚だしく稀薄になつた◆『人情輕薄紙の如し』とか『手を反せば雲となり手を覆せば雨となり』とかの古語もあるから今に始まつた事ではないが近代社會に情味の殊に乏しくなつた事は驚くべき程である◆なぜ左うなつた乎といへば色々理由もあらうが一口に申せば物質文明の崇りで何事にも所有權とか契約とか權利又は權力關係とかを口喧ましく言ふからだ◆何でも彼でも法律や規則で目安を測り主智的科學的に考ね更に機械的に萬事を律してしまふので人間の有つてゐる天賦の情味と云ふものが何うしても稀薄にならざるを得ないのだ◆人口が殖ゑて生存競爭が激しくなり油斷して居ると忽ち顎の下が乾上ると云ふやうな始末なので勢ひ利己心が猛烈となる◆此の利己心の猛烈も卽ち社會を殺風景にし社會における人情味の露はれを鈍らした一個の有力なる原因である◆之をその成行

に放任せずして角ばつた社會に圓みを付け乾燥無味の社會に情味を加へ冷かな社會に温かみを添ゑやうと云ふのが社會政策の目的である◆社會政策を基調とする社會事業は之を具體化したもので有るが社會の成員たる各個人が生存競爭と相並んで進むべき生存共同といふ事を忘れて社會事業に無頓着と來ては遣り切れない◆例へば社會事業の一なる人事相談は惱めるもの悶ゑるもの苦めるもの爭へるもの等の言分を聞いて専ら人情的に親切にその相談に預かり能ふだけ圓滿にそれ等を處理解決し様といふのだ◆社會事業の一ツとして人情味のないものは無い社會事業の中心は人情だ近代語を以て云へば人類愛がその基調だ斯うして社會事業は冷かな社會に温かみを添ゑ樣と努めるのだ◆同時に社會事業は生存共同と相互扶助の下に萬人に肉の糧と靈の糧とを與ゑ生より起る種々の惱みと苦みと悶ゑを去り全體の社會を健全にしやうと云ふのだ◆牧野法學博士は更に曰ふ『生を養ひ死に喪して憾みなきは王道の始めなりと孟子は說いたまことや生存權の理論は七十の者をして帛を衣、肉は食はしめんとするのである黎民飢ゑず凍ゑずして王たらざるものは未だ是あらず當に王道を說くことが社會問題の要旨になつて居る』と◆孟子の謂ゆる王道は則ち我が皇道だ王道の國たる我が皇國に在るものは皇道則ち民衆道の本義を體得して民衆のために又社會のために互に相勵み相扶け合つて大いに努力せねばならぬ◆危いかな滔々たる物質文明の風潮や我國も今當にその風潮の犯す所となつてヤレ所有權だヤレ契約だヤレ法律だヤレ規則だヤレ權力だヤレ權利だと騷ぎ散らす者が多くなつた◆所有權の主張は利己心を强め契約は强者の楯となり法律や規則は杓子定規的となり權力や權利は橫暴邪惡なるものを跋扈せしめ然り而して義務を怠り責任を忘れた者が平氣な顏で澄まして居る◆政治もその根柢を改めなくては可かん權利權力主義の政治は遂に民を誤まり國を危ふするに至るであらう◆經濟もその基調と組織を改めなくては可かん自由競爭主義やメルカンチリズムで立つて居る經濟は民を害し國を毒するに過ぎない◆歐米の物質文明の流毒から免れやうと思ふならば皇道に則つて社會政策と社會事業とを多々益々行ふべしだ◆ともすれば實用と營利と利己に傾き易い無情味の植民地社會に於て殊に然り。



英國の失業問題（上）

社會局書記官　大野綠一郎

一

曾て洋畫の泰斗淺井忠氏が歐洲を漫遊した時、何處の町を歩いても、同伴の人に色彩の事のみ語り、其の方にのみ眼を着けて居つたといふ事であるが、斯樣な人達に取つては、世界が色彩界であるので、總ての事を斯ういふ風に徹底的に視察する事になつて、始めて本當の視察になるのであらう。自分も職業紹介所の實際的事務の視察が外遊の眼目だつたので、外の事には餘り注意を拂はず、職業紹介所の事務を中心として失業問題といふ樣な事が主として眼に着いた。そこで爰には歐羅巴で最も困つて居る失業問題、就中最も困つて居る英國に於ける同問題の情勢について其の概略を簡單に述べて見る。

最初に通つた米國では滯在も短く視察も餘り廣い範圍に亘らなかつたので、斷定的には言はれないが、米國の職業紹介所にも相當の勞働者が押掛けて居たのを見た。併し之は米國の勞働市場に於ける謂ゆる勞働豫備（レボアー・リザーヴ）であつて、英國や昨今の獨逸に見るやうな街頭を彷徨する失業者の群とは別物だ。米國には働かうと思へば幾らでも働ける機會があり、天然の資源も極めて豐富であるから、由來貧乏人の多い英國のやうな國とは餘程異つて居る樣に思へた。一九二一年ハーディング大統領の下に失業問題會議を開いて其の救濟を策した

事があるが、其後既に不景氣は去つて了つて、大體に於て寧ろ勞働者が不足の方であつたので、私の行つた時は會議の跡片付をして居つた位である。米國の職業紹介業も戰後聯邦政府で組織的に行つて居たが、議會で殆んど豫算を削られ、國として行つて居るのは甚だ小規模のもので、今日では各州思ひ〳〵に行つて居る個々には立派なものもあるが其の聯絡として特に模倣して見ようといふ程のものはなかつた。カンサスなどでは農業の刈入れ季節において臨時に職業紹介所の聯合のやうなものを作つて何かと失業問題の上に努めて居つたが地方的には却つて勞働力の缺乏を訴へる場合もある樣に思はれた。

二

然るに英國に渡り倫敦に着いた翌日、東倫敦のペテコートレンを歩いて見た時、街路を彷徨する失業者の多いのに驚いた。其他町の辻々、地下鐵道の出入口等、到る處に勞働者、場所によつては其の夫婦者が居て靴の紐を賣るとか、風琴、ヴアイオリンを鳴らし歌を唄ふとかして、道行く人々に合力を願つて居るのを散見した。つまり乞食のやうなものだ。グラスゴーに行つた時には、一人の男が辻に立つて、失業保險金は斯樣にして貰ふものだといふことを聲高に説明すると、其の周圍を澤山の勞働者が取捲いて聽いて居るといふ有樣だつた。此等は多分職を失つた此町の造船職工でもあらう。其の光景何となく悲慘であつた。此等の情態から見ても英國が如何に失業問題に惱まされて居るかが察せられる。

自分の滯英は昨年五月から七月迄であつたが、丁度七月の暑い頃、トインビーホールのセミナールに一寸出て見た。それは或る晩討論會があつて支那の工業情態といふ題で支那の張某君の話があるからと言はれたので夕刻行つて見た。場所はトインビーホールの庭の中で、あの蔦の纒つた家を背景として、イーストエン

ドから勞働者が三々伍々集つて來て、演壇を圍んで種々の話が始まつた。張君は非常に英語が達者で、支那の勞働者の情態が甚だ進んで居らぬこと、隨つて勞働運動も進んで居らぬこと、列國資本家の壓迫を蒙つて居ることなどを諄々と談話した。其の話の初めに張君は英國の勞働者も支那の勞働者も共に四海兄弟（ユニバーサル、フラサーフツド）だと述べた。話が終つて聽衆の中から澤山の勞働者が交々演壇に立つて意見を述べた。中に七十歳位の一老人があつて、此の老人が『先刻辯士は四海兄弟と言つたが、自分は一向さうは感じない。支那の勞働者の情態は原始的なもので、賃銀が安く、其の生活狀態は惡く勞働條件も惡い。支那には斯樣な發達せざる多數の勞働者が居る爲めに、資本家は此の劣等なる狀態を利用して種々の事業を企て興すのだ。世界の一隅に斯樣な勞働者を有つて居る國があることは、我等勞働者の生活條件を改善せんとする上に大なる脅威である。且斯樣なことは吾人の現在苦しめる失業にも直接間接の影響を與へる。斯く考へると、支那の勞働者に對しては何うしても四海兄弟といふ氣がしない』と少しの飾氣もなく無遠慮に言つて除けた。又一人は張君に對して支那に宗教があるかと聞いた。すると張君は『支那人は功利的國民であるから、支那には宗教がない、儒教はあるが之は宗教でない、佛教は渡りもので支那のものでは無い』と答へた。之れは聞いて質問者は『支那人は賢明な國民だ。英國には立派な國教があるのに失業者は一向減らない』と述べて會衆の喝采を博した之れに由つて看ても英國が如何に失業問題で持切つて居るかが分ると思ふ。

三

然らば英國の失業狀態は如何なる程度に在るかと云ふと、自然統計の問題になるが、失業の統計は非常に困難なもので、現に我邦にも完全なものがない。內務省で行つて居る失業者數の調査は、工場における勞働

者異動の中の歸趨調べと、職業紹介所における求人求職の調べとの二方面によつて居るが、此の二方面は全然異つた立脚地に在るため、之を綜合して一の失業者數を正確に測定することは困難で、結局大體に於ての推測を下すより外はない。英國に於ける失業者の數は失業保險の保險金を受けた者の數によると聞いて、それが最も正確だと感じ、日本も失業保險を實施しなければ正確なる失業者の數は知り難いと思つたが、然し英國でも正確には分らぬ。失業保險を行つて居ても、一定期間一定額を掛けて極限の保險金を貰つて了ふと勞働者は掛金をしない。其の爲め職業紹介所の登錄（レジスター）の數からは省かれても實際は失業者が澤山居る。隨つて失業者の數は保險金を貰つて居るものよりも遙に多いことが想像されるけれども然しそれが何人あるかは正確に分らない。大體をいふと、一九一八年休戰條約後一九二〇年までが普通の狀態で、二一年末から非常な勢で激增した。一體此の失業者の數を測定するに二つの數字がある、一は勞働組合の調べで他は職業紹介所の調べである。其中紹介所の調べは失業保險法の改正によつて範圍を異にして居る。

先づ勞働組合の調べから述べると、是れは政府に報告をなす組合だけの數字で、其の組合員も百萬から百六十萬を調べただけだから、此の比例を以て總ての勞働組合を推すことは出來ないが、兎に角其の調査によれば、一九一八年頃は最も多い月（大體冬が多い）で、百萬人乃至百六十萬人のうち百分の一・二乃至三・二であつた。それが一九二一年の初めには百分の十、六月には二十三となり、其後十四、十六、十四と高低があり、而してそれ以下には下らない。即ち一割四分乃至一割六分の失業者があるといふ狀態だ。之を戰前一九〇〇年の四分乃至五分でも多いと言はれた時代に比すると非常な增加である。

一方の職業紹介所の調査は如何といふに、從前の調べは、失業保險法が特に或る限られたる事業をのみ目的として居つた爲め、全體の失業者を斷定する材料にはならないが、一九二〇年から失業保險を總ての筋肉

勞働者及び收入二百五十磅を超ゑざる非筋肉勞働者に施行することゝなり、千二百萬人の被保險者を包含する事になつたのである。其の前後の比較は基礎を異にするから、一九二〇年は姑らく措き、同年以後の調査によると、歩合にして一割一歩、一割七分、一割二分、人數にして多きは二百十七萬人、少きも百三十萬人を下らない。卽ち歩合にしても一割を下らない。其の業別から言へば、造船業及び鐵工業が最も大なる打擊を蒙つて居り、其の率の如きも實に三六%を超ゑて居るといふ狀態である。

四

失業の經濟的原因に就いてはホブソンとかコールとか、其他學者に依つて意見が區々である。社會を經濟的に見ると、特定の場合に貯蓄資本（セービング、キヤピタル）と消費資本（コンシウミング、キヤピタル）とがあつて、夫れが一定の割合をなして存在する。而して前者が殖ゑて後者が減るときに經濟的不況が來る。謂ゆる周期的（キクリカル）失業を招來する。そこで若し此の失業を防止しやうと思ふならば、此の事業の周期的に起る現象を支配するより外はない。消費資本なるものはフアイナル●ユーテイリテイーを作るものであるが、それが減つて段々貯蓄資本が增加して行く。さういふ意味に於て、資本の殖ゑると云ふことが自然に失業の原因になるのであつて、社會に於ける多くの資本が消費資本として使用せられず、消費財貨が生產に向けられず、生產の爲めの資本に向けられる割合が一定の割合より多い時、そこに經濟界の不況を招來する。社會に於ける資本の分配を斯樣な狀態に向けしめまいといふ事について種々の議論が起る。極端なる社會主義者の如きは、現在の經濟組織は營利の爲めにする生產を原則とするから、失業問題は避け難いと唱へて居る。爾く極端でなくても、根本の經濟組織は別として、現在の組織の下に於て成るべく富の分配をして割合を保つに適當ならしむる樣にしやうとする說もある。學者の說は

斯く種々に分れるが、經濟學說の如何は暫く措き、實際に於て失業者は直接消費に遠いもの程多いのである最近の『レーボア●ガゼット』を見ると、最近英國には百三十四萬人の失業者があり、尙ほ政府の救貧法の恩惠を受けて居る者が少し舊いが昨年五月に於て九十七萬人であるから、合せて二百萬人乃至三百萬人の失業者がある譯だ。之を英國全人口の四千七百萬人に比すれば一割に近い數である。

五

全國民の約一割が失業者であると云ふことは、素より國家の重大問題であるから、英國が百方手を盡して失業者救濟に努力するのは當然だ。我等は英國の現狀に就いて深く考へさせられると同時に、日本も工業狀態の發達に伴ひ失業者が益々多くならうから、必ずしも之を對岸の火災視することが出來ないと思ふ。自ら働く意志があり、また働き得る力を有し乍ら、職を求むることの出來ない人ほど氣の毒なものはない。又斯かる不合理な事はない。人は社會に生活する權利があるから隨つて働くべき權利もある。日本では此の失業救濟の爲めに職業紹介所法を施行して居るが其他の種々なる政策に就いては統一してやつて居るものがない是れ或は其れ程までに失業の情況が激しくないからでもあらう。然し斯樣な時こそ此の問題を事前に考慮すべきであつて、殊に貿易の不況、爲替相場の下落といふやうな市場に對する悲觀的材料の多い時に當りては失業問題について豫め深く朝野識者の熟慮靜考を促したいのである。

英國に於ける失業政策の大體を述ぶるに先ち少しく其の沿革を說こう。古い事は別として、一九〇五年ロードロングが地方局のプレシデントたりし時、篤志組織として委員會を設け、倫敦に於て失業救濟事業を行つたところ、好成績を擧げたので、更に失業者救濟法（アンエンプロイメント、オークマン、アクト）を作つて、中央にメトロポリタン●チストレツス●コン

ミッテイーを置き、地方には人口五萬以上の都市に中央委員會と地方委員會を設置して、之れを働かせて居たが、段々發達するに至つて之を廢し、一九〇九年に職業紹介法によつて職業紹介所を設置した。是れ實に本式に政府が失業問題に手を染めた最初である。英國職業紹介所の設立に就いては、當時の救貧法改正委員中の少數委員の報告、就中シドニー・ウェッブ氏などの說が與つて力あるものと考へられる。而して此の狀態が恰も日本の現狀に似て居る。越ゐて一九一七年に至りて失業保險法を實施したが當時は唯僅にか特定の七種の事業にのみ之を施行したに過ぎなかつた。次いで戰爭が起るに追んで、その戰爭中軍需工業に關するものを加へ、一九二〇年には筋肉勞働者及び年收二百五十磅以下の收入ある自由勞働者をも加へることゝした卽ち大體において今や殆ど勞働者の全部を包含することゝなつたのだ。

六

第一に英國政府の行へる失業保險の方法を簡單に說明すれば、それは資本家、勞働者並に政府が一定の割合で掛金を爲し、勞働者が失業の際に保險金を交附するのである。此の手續の間に於て職業紹介所は勞働者に失業手帳(アンエムプロイメント・ブック)を交附し、雇主が賃銀を拂ひ渡す時、賃銀の内より勞働者の掛金を差引き、其の金額と雇主の掛金とを此の帳面へ失業保險切手で貼付して記入し、而して勞働者が失業した時、此の帳面を差出せば、政府は條件を審査して保險金を交附し、又は職業を與へるのである。初めは掛金が少く、男子四片、その他は之に準じて徵收せられたが、臨機の急を救ふ爲めに幾度か法律が變り、今日では男子は雇主が十片、被雇者が九片、政府が六片四分の三である。之に對しての給與金額も戰後非常に增加され、一週十五志となり、十七志となり、今では十八志となつて居る。(之は男女によつて少しく額を異にする)

之を概言すれば、英國の失業保險は、此の臨時の大失業の結果、特に失業者の妻子救濟を目的とせる家族救濟法（エンプロイメント、ウエークマンステペンド、アクト）を發布して此等の救濟をなす外、幾多の契約に基く權利なき者に對する給付を出した。之が爲め失業保險基金の缺乏を來し、一九二二年には勞働省が之が爲めに借入れ得べき金額二千萬磅なりしに既に千四百萬磅を借入れたる結果、已むなく其の最高額を三千萬磅に增額するに至つた。斯樣な次第で、保險國營に就いても種々の議論があり、竟に行政整理委員會あたりの問題にもなつた樣である。昨今問題となつて居るのは、工業自身が失業保險を行ふことで、其の爲めに委員會も出來、報告も出して居るが、英國勞働省の或人に聞いて見た所では、とても實現出來まいとの事である。果して如何なる種類、方法で行ふ積りか興味ある問題であり、又我邦に取つても非常な參考にならうと思ふ。

社會事業としての植民

雜誌『人道』主筆　留岡幸助

社會事業の範圍で取扱ふ人々は其の種類が極めて多いのであるが、之を大別すれば生活不能の貧窮者、一定の住所なき浮浪者、就くに職なき失業者、病んで醫療なき疾病者、學ぶに道なき文盲者、住むに家なき無宿者、保護の道なき出獄者、低能白痴者、不良少年、孤兒、貧兒、墮落婦人等、一々列擧に堪へない程である。次ぎに彼等はどうして出來てくるのであるかと云ふに、社會制度の不完全により、經濟上の關係により自個の怠惰又は節制の足らない事により、先祖の遺傳の惡しきにより、又は不意に起り來る天災地變に依つて發生するのである。これ等を其儘放任するに於ては、個人が墮落破滅するは勿論、延いて社會もまた迷惑

することは夥いのであるから、國家及び公共團體又は個人の力を以て之を保護し教養し善導しなくてはならぬ此の事業を名けて社會事業と云ふのであるが、社會事業を解決することに植民制度を以てすることは最も適切なる方法であつて、從つて其の效果もまた少なくないのである。

以上述べた被救護者を都市と農村とに區別し、而して孰れを最も多しとするかと云ふに、固より農村に少なく都市に多いのである。言はば都市そのものゝ生活自體が不健全なる人々を釀生すると云つても差間へないのである。此の故に斯樣な多數の人々を發生地たる都會から之れを健全なる場所へ送ることが肝要だ。此の遣り方は個人を救ふ上に於て又は社會を防禦する上に於て必要缺くべからざることゝ思ふ。人の改良は先づ氣を轉ずるにある。氣が變らなくては形は改まらぬ。故に都市の如き不健全なる場所より閑靜にして落付よく又人間要素少くして自然分子の多い植民地へ人々を移動させなくてはならぬ、之は社會の爲めに宜しきばかりでなく其の人々の爲めにも仕合せの事と思ふ。孟子はこの消息を洩らして『居移氣養體大哉居乎』と云つたが、實に其の通りである。是れ社會事業の一制度としてコロニー●システム（植民制度）の歡迎せらるゝ所以である。英國の社會事業者が貧兒、孤兒、不良少年及び窮民等を加奈陀や南亞弗利加に送還し、倫敦の救世軍本部で英領加奈陀へ窮民及び貧兒を移住さすのは此の意味からである。

二宮尊德は『農業は不淨を化して淸淨となすの法なり』と云つたがコロニー●システムの長所は全く玆にある。土壤ほど人に對し社會に對して魔力を有するものはあるまい。人の持て餘す塵埃や汚物や糞尿は、之を土中に埋沒すれば、やがては米、麥、野菜となりて現はれるもので、土の物を淨化する作用は之を以て見るも明かである。土を以て物を扱ひ人を處するの方法である。私は曾て『土を尊べ』といふ論說の中に…………コロニー、システムと稱する社會的一制度は要するに

ある。私は曾て『土を讃へ

人間の立脚地はどこにあるかと云へば無論土の上である。足が土に固く着いて頭が天に向つて居れば人間は安全である、舊約聖書に神は土壤を以て人間を作つたと書いてある。肉體は土より造られ精神は神の吹き込んだものである。此の故に人死すれば土中に葬られ、土より出でたる身體は土に歸り、天から出た魂は天に歸るのである。身體も土、その身體を養ふ食物も土から作られ、其の上人間の立つ所も歸る所も土であるとすれば、之を卑んでは相濟まぬ譯でないか。寧ろ大いに尊ばねばならぬ筈だ。土を扱ふ故を以て農者を卑むとは何たる事であるか。實に罰當りといふべきである。

と、かう謂ふたのであるが私は更に宗教の作用と農業の作用とを比較して左の如く論じた。

宗教は腐敗したる魂を清むるものであるが、腐敗したる物質を清むるものは土壤である。萬人宗教に觸れて靈化せざるものなく、萬物土中に入りて善化せざるものはない。然らば則ち精神と物質との差異こそあれ宗教と農業とは何れも同じ徑路を辿るものではあるまいか。

私は土に關して如上の如く言つた事があるが、今も尚ほ土に關しては上記の如き憧憬を有つて居るのである。玆にこの言をなす所以のものはコロニー●システムの本尊とも云ふべき土壤の禮讚である。佛蘭西の先覺で感化敎育の泰斗と仰がれたデ●メッチは『土は人を化し人は土を化す』と云つたが、洵に其の通りで、土と人と協同作業をなせば荒蕪地はやがて開墾せられ、荒蕪地の開墾と共に、荒れたる人の心も次第に善化されて行く。コロニー●システムの道行きは實に不可思議と謂はねばならぬ。

植民制度の人生に功德あること上陳の通りだ。居は氣を移し、また不淨を化して清淨となすばかりでない荒蕪地に不善、無能、怠惰、遊蕩の人を移して農耕に從はすれば、生活に必要なる食物を得ることが出來る社會事業家の Idle hand, Idle lond と云ふのは此の意味である。野良には清純の空氣あり、透徹せる日光あ

り、清冽の水ありて、影薄き薄倖者に先づ第一に都會に於て得ることの出來ぬ如上の賚物を與へる。斯くして惠まれたる肉體は勤勞の結果胃の腑に食物を充たし得ることが出來る。日影者に取りては胃腑の充實は何ものよりも難有い。既に日光、水、空氣、食物、勤勞を得たる彼等は之等の生活條件によつて健康を增進することが出來る。不健康は社會的薄倖者に取りて概ね附屬せるものと云はねばならぬ。然るに生活條件の次第に充實されることによつて彼等の健康が增し加はるとすれば彼等に取つて何物を得たよりも仕合せであらねばならぬ。ブルヂュア階級に屬し、身は金殿玉樓に起臥し、住むに豊か、食ふに豊か、衣るに豊かなる人人の中にも、健康甚だ不如意にして人生の幸福を享受するに缺くるもの尠かざるは世人の夙に知る所であらう。『胃を病んで思ふばかりぞ初鰹』なる句は此間の消息を傳へて餘りあるではないか。然るに生活不如意の人々が植民地又は農地にあつて如上の生活條件が充され、食ふに食あり、住むに家あり、働くに職あり、搗てゝ加へて健康狀態良好なりと云ふに至つては、實に幸福の極みと謂はねばならぬ。

植民制度を社會事業に應用したる好模範としては、外國の例はさておき、我が德川時代に於て加賀三代の名君松雲公が金澤の城下に收容したる御救ひ小屋の非人不浪者を河北潟の湖畔潟端新に移植し、農業を以て彼等を改良したる一事がある。この潟端新なる不良徒植民地が現今は最も稱揚すべきで石川縣の模範村となりたる事績は遠く海外までも誇稱するに足ることゝ信ずる。社會的植民制度を以て有名なるは、遠くは和蘭陀、近くは英國及び瑞西なるも、我が德川時代において加賀の名君松雲公が施設したる潟端新には及ぶべくもない。以て我國社會事業の一事績として誇るに足るであらう。社會事業としての植民制度には人口問題の上からも今後識者の大なる注意を望まざるを得ないのである。

視察したる臺灣の社會施設

生江孝之

先頃臺灣に於て地方改良講習會が開かれ、余も其の講師の一人として渡臺したが、其の機會に餘暇を利用して臺灣全島の社會事業を視察した。今其の社會施設に就いて見るに、それが自治行政、教育行政等の事業と對照して寧ろ勝れて居るのは喜ぶべき事である。今後其の經營宜しきを得れば或は內地の社會的諸施設を凌駕するに至るやも知れない。今此の臺灣に現存する社會施設を大別すると、救貧事業卽ら生存保護事業と防貧事業卽ち生活保護又は改善事業とが其の主なるものであつて、此の以外には現在のところ殆んど見るべきものがない。或物は優れて居るが或物は無く又は足らないのである。之は臺灣に於ける當今の社會的狀態の然らしむる所で其の結果を明らかに表示して居るものとも言へやう。

然らば其の救貧事業とは如何なる種類のものかと言ふに、多くは謂ふところの窮民救助事業に屬するもので、或は施藥救療の如き、或は行旅病人救護の如きものである。其等の多くは臺灣が我が領土に歸屬する以前より存在したもので、歸屬後に之が組織及び經營の方法を革め、內容を更新し、そして現代の必要に適合せしめたものであるが、それ丈け何處かに古い感じが殘つて居る。然し是等の救貧的社會施設は本國內地のそれに比すれば、內容が整頓し、其の取扱ひの如きも相當に徹底して居る樣である。就中臺北にある仁濟院の如きは、恰も東京市養育院の如き種類のもので、其の設備と云ひ、其の經營ぶりと云ひ、大いに推稱するに足るものがある。現在は全島を通じて窮民救助所十五、施藥救療所六あり、此他無料宿泊所とも言ふべき

施設も可なりに多い。然るに遺憾に思はれたのは行旅病人や精神病者の救護が全然成つて居らない事である。之は我が内地とても同樣の憾みがあるが、臺灣に於ける精神病者の取扱ひは特に非人道的である、と言ふのは、同島に此等の病者を保護すべき社會施設が一つも無いからだ。故に此等病者の或者は單に原始的なる取扱ひを受け悲慘なる境地に置かれて居る。全島然りとは言へないが或る地方の如きは日本内地にては到底見るを得ざる悲慘極まる取扱ひを受けて居る。元來窮民救助に屬する施設は、世界何れの國に於ても主として消極的方針を採つて居るから、獨り臺灣に對してのみ完備せる施設と徹底せる取扱ひを望むことは無理であるが、同島に於ける社會施設が比較的整頓せるに拘らず、獨り精神病者又は行旅病人の保護に對して此の遺憾な點を見出すのは臺灣における社會事業の爲めに深く惜む所である。

之に反し防貧事業即ち生活保護事業と稱すべき社會施設は、内地に於ても容易に見られざる程に發達普及し、且内容も大いに充實して居る。公益質屋、實費診療所、公設浴場、公設市場等は其の重なるものである公益質屋は大正八年勅令を以て之を設置し、翌九年に至り總督府令又は訓令等を以て夫々之れが規定を設け斯くして其の事業を開始するに至つたもので、現在に於ては其數必ずしも多いとは言へぬが、目下準備中のものを加へると六箇所ばかりになる。その内容は極めて現代的で小資融通の機關として有益な働きを爲して居る。貸付金額は一口五十錢以上三百圓まで〻知事の認可を得ればそれ以上も貸出せる。利率は月一分五厘で、期間は三十日を以て一月となし、曆月を以て計算しないから頗る便宜好く、内地人も本島人も之を小資融通の機關として充分に利用して居る。多少の弊害もあるらしいが利用者の受くる利益の大なるを思へば深く言ふべき事ではあるまいと思ふ。臺北の公益質屋について見るに、此の事業は約四十萬圓の資金を以て經營して居るが、大正十一年度に於ける貸出總計七十八萬圓、受質七十二萬圓と云ふ成績で、僅々十七八萬の

人口で且內地人よりも本島人の多い都會としては、可なりに大きな働きを爲して居るものと認められた。其の從業員も十數人あつて、敏活に熱心に働いて居る有樣は、曾て余が佛國巴里に於ける此種の質業を調査した時の狀態に稍々髣髴たるものがあつた。公設質屋の出來た爲め臺灣における營利的の質業は年々その數を減じつゝある。私營質業は一年十二割まで利率を許されて居り、且暦月計算であつて、實際は十五割になると云ふ有樣なので、利用者側に取つては公設質屋と比較にならぬ程の不利な爲め、之を利用するもの次第に減少し、漸次衰滅しつゝあるのである。總督府に於ては公設質業開始後二箇年以內に營利的質屋が閉店した場合に損害金を支給することにして居るので、今猶ほ幾何か餘喘を保つて居るもの、臺灣の私營質屋が消滅して了ふのも惟ふに餘り遠き將來のことではあるまいと言はれて居る。

實費診療事業は施藥機關の一部に附設されて居る所が相當に多く獨立して實費診療を營んで居るものはない樣だ。然し臺灣全島にて十二箇所もある總督府直營の病院は實質に於て立派な獨立したる實費診療所であると言ひ得ると思ふ。例へば臺北醫院の如きは規模宏大にして且設備の完全せる當に東洋一と謂つて可なりである。病床約四百を備へ、入院費は一等三圓五十錢、二等一圓五十錢、三等八十錢で、常に滿員の有樣である。一日八十錢の三等の病床と雖も、之を內地のそれに比較すれば二三圓位の病床に相當する立派なもので、現在內地に於て二圓以下の病床の見られない點から云つても、臺北醫院は實質に於て明かに實費診療であると言ふても過言ではない。尤も之は主として內地人の生活程度に應じて言つたもので、之を新附の國民たる本島人の生活程度に比すれば必らずしも安價なりとは言ひ得られないが、本島人にしても相當な醫師を迎へる爲めには內地人と同じく三四圓以上の費用を要するのであるから、臺北醫院はヤハリ立派な實費診療機關として彼等の間にも相當利用せられつゝあるものと思はれる。

以上の如き狀態に在るので、其の維持に就いての自給は勿論不可能で、總督府より年々經費の約半額の補助を受けて居る。日本内地に於て斯るものを設置するとしたら何うであらう。恐らく醫師會の總攻擊を受けて全く存立し得ない事にならうと思ふ。然るに臺灣には斯る團體がなく、有つても力強くないので、實費診療に等しい醫療機關が備はり、内地人も本島人も共に十分之れを利用し得る便宜を與へられて居るのである倘ほ朧を得て蜀を望むやうだが、臺北市の人口は十八萬人で、其のうち四萬人は内地人、十二萬人は本島人一萬人は外國人と云ふ割合なるも、病院利用者の數は必ずしもそれと正比例をして居らぬから、將來は本島人が其の利用者の最大多數を占むるまでに至らしめ、益々此種機關の整備と其の内容の充實に努め、以て文化の程度低き新附民たる彼等に利便と幸慶とを多からしめん事である。

公設浴場も完備したもので、之も他より何等の掣肘を受けない爲め、必要に應じて各都市の到る處に設けられてある。其の入浴料も普通浴場の半額位であるが、就中臺北市に近い北投温泉場にある公設浴場の如きは、假りに之を旅館として見るも頗る完備したものである。此の公設浴場には七十疊と云ふ大廣間より八疊又は十疊位の小室が數多あり、浴場の外に六間に三間の水泳プールもあつて、其處には温湯が常に滿たされて居ると云ふ贅澤なものであるが、此等を隨意に使用し、悠々一日の清遊を試みて、その料金僅かに二十錢を出でないとは、何と廉價なものではない乎。内地の何れにおいても到底見られない浴場である。余が此の北投温泉地を視察した時は、恰かも見慣れぬ熱帶植物の綠滴る中に躑躅の紅が點綴され、遊意の頻りに動くものありしも、時間の餘裕を持たなかつた爲め、殘念ながら清遊を擅にするを得なかつた。斯の如き公設浴場と斯の如き清遊地を持つ臺灣住民は誠に幸福である。私は此の北投温泉場に行つて新領土なるが故に公衆慰樂本位の此種設備を全ふし得るのであらうと思つて羨望せざるを得なかつた。

次に公設市場の槪況を述べやう。明治三十三年開設以來、現在では百六七十箇所の公設市場が全島各都市に分布されて居つて、年額二千萬圓位の賣上があると云ふから、極めて徹底的に利用されて居ると見るべきであらう。元來公開的の小賣市場は臺灣の支那領時代から盛んに行はれて居たのであるが、極めて非衛生的で且不統一であつたのを、**今の後藤子爵が長官時代に之を近代的の公設市場に改造し、以て現在に及んだの**である。明治三十三年頃と言へば今より二十五年も前のことで、公設市場などは唯一人口にする者も無かつた位の時代だが、其頃に早くも之を計畫し實施した爲政者の慧眼には推服するに足るべきものがある。公設市場とは質を異にするも臺灣特異のものにバナナ市場なるものがある。之は臺中に在るのであつて世界に於ても稀に見るものだと思はれた。バナナは臺中、臺南、臺北の三州が主産地で、其のうち臺中が首位を占めて居るとの事だが、此の果物の出盛る季節になると、それが毎朝市場内に山を積まれ、物凄い程の群衆が之を糶るのである。之も臺灣でなければ見られぬ光景だ。一箇年一萬圓内外の移出額があるバナナの二割内外が此の市場で取引されるのであるから其の盛觀思ひやるべしである。

臺灣には職業紹介所も十數箇所あるが多くは最近の設立に係るもので之れは特筆すべき程のことでもない今是等職業紹介所の十二年度の成績を見るに、求職者内地人一、五二九人に對し就職者五二九人、同本島人三六〇人に對し二八人の就職者を見たるのみである。内地人の求職者中最も多數を占むるは會社事務員で、其の員數二八五人であるが、その就職は僅かに一二人に過ぎない。臺灣の職業紹介所は未だ本島人の利用する所とならず、内地人の求職者中には精神勞働者卽ち智識階級のものが最も多く、而も其の需給の間に著るしき懸隔があるので、其の成績が思はしくないのである。猶ほ近代的社會事業の一として内地の都市に盛んに開設さるゝ簡易食堂が臺灣には一箇所も設けられて居ない。之は必要がないからで若し必要があればそれは

單に各地に散在する十七萬の內地人に限定せらるべきものであらう。本島人に對しては別に其の生活程度に適合した簡易食堂がある。それは何れの都市へ行つても多く見られる露店である。特に公設市場の附近には此の露店が澤山並んで本島人は隨意に立寄つて飮食して居る。五厘位からの品があつて一日二三十錢もあれば充分に腹を充たし得るさうだ。支那人は料理にかけて世界一の稱あり、其の支那人種に屬する本島人も亦同樣であるから、滋養價に富んだ安價食物を調理し得るのであらう。露店の設備は頗る粗末で且非衞生的なものであるが、元來簡易生活に馴れた民族でもあり、それに支那人と同じく本島人は生食ひを爲さず、必らず煮燒して調理するので、案外食物より來る傳染性疾患は少ない樣である。

以上述べ來つた通り、臺灣の社會施設は其の初め救貧事業に重きを置いて居たと見るべく、そして該事業の經營主體は公共團體でなければ堅固なる法人組織となつて居るので、一二の特殊なもの（精神病者の保護の如き）を除いては、內地のそれよりも整頓して居ると言ひ得られる。然し夫等は消極的施設の範圍を出でないものであるので、近來に至り之と對立すべき積極的な各種の防貧的事業が起り、其の顯著なる發達を見るに至つたのである。然るに叙上の施設以外に隣保事業、兒童保護事業、敎化事業の如き、更に全島の諸施設を聯絡し統一すべき社會事業協會の如き必要な事業が未だ殆んど其の着手を見ないのは遺憾である。尤も兒童保護事業としては淸領時代に育嬰堂と稱する幼兒保護機關があつたが今日では其の必要を認められなくなつて居る。臺灣にも支那と同じく無智な迷信から嬰兒を壓殺し又は河中に投入して溺死せしむる惡習があつた爲め、此等の嬰兒を保護し成育せしむる爲めに育兒施設の必要があつたのだが、現今では斯る惡習も殆んど跡を絕つたので、それで育嬰堂の必要がなくなつたのである。之は眞に悅ばしい事である。然し兒女を賣買する風習は今も尙ほ殘存し、貧家の兒女にして之が爲めに一生を不幸な情態に送らねばならぬものが多

數あること云ふ事だから、此等の憐むべき兒女を救護し、殘存せる惡風習の撲滅を圖り、併せて一般の兒童に對してその幸福を計るべき社會施設としての廣き意味の兒童保護施設が多く起らねばならぬと思惟する。臺灣に於ても現代的保護事業の趨勢に鑑み一段の考慮を拂はれんことを希望する。

隣保事業又は敎化事業が臺灣に起らないのは何故だらう。本島人は三百四五十萬人ばかりで、多數の市街を形成して集團的生活を營んで居るから、隣保事業の必要がないとは言はれぬ。多くの本島人は可なり時世に後れた生活をして居るから其の集團生活に改善を加へる餘地がある。然るに今日まで臺灣に隣保事業が起らず徹底的の同化運動を見るに至らないのは誠に殘念な次第である。適々臺北市に於て十數年來一身を捧げて斯業に從事して居る一內地人あるも、其の周圍は彼に加ふるに强大なる壓迫を以てし、現在に於ては實に孤軍奮鬪の狀態にあるのは氣の毒の至りである。彼とは稻垣藤兵衞君其人である。彼は本島人の住居區內に自ら生活し、稻垣義塾なる私塾を設けて本島人を訓育しつゝあつたが、數年前より婦人隣保事業に手を伸ばし、娼妓の自廢の援助又は誘拐された婦女の保護等を開始した處、忽ち或る方面の嫌忌を買ひ、一時は冤罪を被りて拘禁さるゝまでの難境に直面した、而も尙は能く毅然として其の難局に耐へ、今に戰ひを續けて居るやに仄聞する。彼の人物及び素行に就いては之を審かにせざるも、本島人の住める臺灣の市街區內にも隣保事業を起すの必要を認むる予は、此の事を耳にして竊に獨り之を怪んだのである。

最近臺灣にも方面委員制度を樞要地數箇所に實施せられたが、この事業が徹底的に實施することが出來たら、相互間の連絡にも、一般の救護にも、共に非常に好都合であると思ふ。併し乍ら若し其の方法宜しきを得ざれば反つて災を起さぬとも限らない。當局者は之に對して周到の注意を拂ひ萬遺算なきを期さねばならぬ。臺灣總督府に於ても近く社會課を新設して社會施設の統制を計り、更に適應の事業を創設して時代の要

求に應ぜんと種々計畫中であると云ふから、其の計畫が熟して來たなら之に依つて臺灣の社會事業に一新紀元を劃すべく、従つて其の將來の發展もまた期して待つべきであらう。

内地の社會狀態を視て

大連聖德會事務長　宮武喜三太

我國は維新以後一氣呵成に諸般制度の改革を遂げたるも、獨り産業社會の久しく安定を保ちたりしは、是れ封建時代の主從關係及び差別主義の遺存せしが故と思惟す。然るに最近數年間に至りて形勢急變し、産業に關する爭議頻出して、それが單に工業方面のみならず延いて農業方面にも及び、更に水平運動なるものゝ擡頭し來れるは、蓋し大いに注目すべき現象ならんと信ず。

工業爭議に關し大正三年より大正十一年に至る工業勞働者の同盟罷業表を調査するに、大正三四年頃には件數僅に五十乃至六十、人員八千に滿たざりしが、大正六年及び七、八年の交に入り件數に於て四百三十七人員に於て六萬二千三百に達し、大正九年以後世界的不景氣の爲め多數の資本家及び事業主の大打擊を蒙りたるに拘らず、勞働者の罷業は毫も衰退せず、同年より大正十一年に至る三箇年間平均に於て件數二百六十員數四萬五千三百を算せり。此の數字は大正三年に比し件數に於て五倍七分に相當す。

初め工業關係の勞働團體は久しく離合集散常なき間に彷徨し居りしが、近年に至りては其の數百以上に達し、員數は少くも三萬を數ふるに至れり。其の聯合體としては日本勞働總同盟、勞働組合同盟會、機械勞働組合聯合會、關西勞働組合同盟會、官業勞働總同盟等にして、此等の聯合團體に屬する組合の大多數は大正

八年以降の創立に係り、殊に大正十年を一期として其の數を增加せり。飜つて是等團體を支配する思想及び主義を概觀するに、近來稍々穩健となれる向もあれど、謂ゆる協調主義に依るものは比較的少數にして、多數は直接行動派に屬し、彼等の或る者は革命を謳歌し、或る者は總同盟罷業の萬能を高唱し、勞働保護立法を歡迎せず、普通選擧にも無關心にして國會を信賴せず、また國際勞働組織をも公然否認し、彼等の思想は荒みに荒み、其の行動動もすれば常軌を逸するの傾向あるを認む。

農業爭議は大正四、五年の交までは著しく世人の注意を惹くに至らざりしが、大正六、七年以降漸く社會の表面に露はるゝに至れり。即ち大正六年には件數八十五件に過ぎざりしが、其後比年累加して七年には二百五十六件、八年には三百二十三件、九年には四百八件、十年には躍進して千六百八十件に上り、大正十一年には千五百七十八件を算せり。而して其の地域は小字又は大字範圍より次第に村町又は郡に移り、最近に迫んでは全國的に相策應せんとするの勢ひを激成するに至りたり。

小作料低減を目的とする農民團體の發生は新しき事態にあらざるも、其の著しき增加を示すに至りしは數年來の事に屬す、而して大正十一年には其の數千百十四を算し、團體員數十三萬に達せり。此等團體の大多數は工業團體と同しく大正八年以後の創立に係り、同年以前に在りては各年次の創立概ね十數を出でざりしが、八年は百九、九年は百六、十年は三百五十二、十一年には三百四十に達せり。

以上は單純なる對地主の團體なるも、大正十一年四月には社會主義的色彩を帶べる農民組合なるもの組織せられ、此等團體は最近一箇年間に其數七十八に達し、十六府縣に亘り推定員數三萬人を有し、七個の聯合會の外關東及び關西に同盟會を組織し、日本農民組合總本部に依りて統一せられ、他日勞働總同盟と提携するに至るべしとの說あり。從つて此等各農業團體を支配する思想及び主義も亦一變し、小作爭議の傾向は大正

十一年を一期として急變し、從來の嘆願的態度、卽ち區長又は代表委員を介する微温的手段を拋ち、團體的行動に依りて其の主張を貫徹せんとするもの增加しつゝあり。殊に大工業都市に接近せる地方の農民組合に屬する急進派は無產階級の解放、田畑耕地の社會化を高唱し、往々にして過激主義に類する主張を爲すものあるを認む。時勢の然らしむる所といふと雖も注意すべき現象なり。

由來我國民は資本家にまれ勞働者にまれ一般的に感受性に富み、暗示に動き、群衆心理に支配され易き性格を有せるを以て、我が社會運動は外來思想の流入と共に恰かも峻嶺急阪の間を疾驅するが如き狀を呈せり加之輓近社會組織の急激なる變遷により著しく高等遊民を增加し、彼等は自己生活の資を得んがため勞働者の間に入りて職業的勞働運動者となり、モップ的煽動を事とし、勞働運動をして益々急激的に突進的に導きつゝあるの觀あり。次に我國は今や年々六十萬の人口を增殖し、現在一方哩に三百九十六人二分といへる世界第一の密度を示し、此等餘剩の人口は移住すべき自由の地に乏しく、而も國土の生產力は薄く、而して近時生活向上に關する慾望は敎育の普及と相待つて漸次昂進しつゝあれば、我國現下の思想界は萬嶽の急雨を一路の溪谷に導くが如く、其の速度と威力に於て歐洲諸國の社會思潮の比にあらず。然るに我が社會の一部には封建時代の思想尙ほ濃厚に存在し、明治以來尙武の國として陸海軍人を尊崇したる關係上動もすれば力の福音を過信し易き傾向あるのみならず、今日の敎育は公民敎育の主義徹底せず、往時の遺風として貴族、官吏、資本家と勞働者との間に先天的に優劣の差別あるが如き考を有するもの多く、而して勞働者の智能は未だ低級なるを免れず、我國宗敎家の感化力も非常に減退せるを以て、此の思想界急變の際に方り、勞資雙方の間に立つて緩衝作用を爲すが如きは殆ど望み難しと云ふも不可なり。

如上の事實は我が社會問題を圓滿に解決せんとする上に於て重大なる障碍となるべきものなるが、此等の

諸點を熟慮する時は、我國の社會的施設が外國のそれに比し一層積極的にして且つ徹底的なるを要するは何人も等しく認むる所ならむ乎。寔に我が邦家のために深思すべきことに屬す。

我帝國の現狀を一言に要約すれば、思想界は動搖し、風俗は頽廢し、産業は沈衰し、物價は下落せず、金利は依然として高率を保ち、而かも貿易は益々逆調となり、一方支那も印度も濠洲も國産奬勵の方針に出で我製品を驅逐せんとしつゝあり。之れに加ふるに歐米諸國との競爭も年と共に熾烈を加へ、米國上下兩院は排日移民法案を可決し、勞農露國承認問題も國內に何等安全辨となるの望みなく、內外の形勢轉た寒心に堪へざるものあり。竊かに惟ふに現在における我國諸般の行詰りは摸倣文明の行詰りにして必ずしも本質的のものにあらず。速かに此の摸倣時代を蟬脫して眞日本の創作に驀進せざるべからず。國民的創作の偉業は今や我等の眼前に展開し來れり。此の大業は先づ國民敎育の革新、殊に義務敎育期間の延長、實業敎育の普及を實にし、社會上及び政治上百般の施設改善を計り、殊に社會政策と社會事業の進行に努め、更に餘剩人口を移住せしむべき適當なる植民地の建設等を其の要綱とせざる可らず。

社會問題の解決は一面移植民の發展と相待たざる可らず。予に一策あり、そは高等遊民とも云ふべき有閑階級たる貴族をして其の世襲財産の大部分を社會事業及び植民事業の上に提供せしめ、宗敎家、篤志家、公共團體等は進んで其の實行の任に當り、以て社會事業と植民事業の進展を圖ること卽ち是れなり。之を實現せしむるは容易の業にあらざるも、輿論を起し、氣運を作れば、早晩之を實にするを得るの望みなしと云ふ可らず。斯くせば因循姑息なる富豪輩をして亦自ら反省せしむるの因ともならん乎。最近內地の社會狀態を視察し、其の急變の豫想外なるを知り、茲に其の所感を記すること爾り。

支那の動亂と我が對支策

謂ゆる協調外交と自主的外交

社會問題には縁のない事だが支那の動亂は支那自體の興敗存亡に關すると共に支那と最も利害關係の深い我國殊に我國が特殊地位を有する滿蒙に影響し延いて東亞全體の消長にも係はる事柄であるから默して止む能はず茲に支那動亂に就いての卑見を開陳する。（大正十三年十月、山田生）

支那は辛亥革命に依り帝政が覆へつて共和民政となつたが、支那の實體は全く諸侯割據の封建時代と同樣であつて、私兵を擁し武力を有する諸侯の如き武人が幅を利かし、武人卽ち實力家で、彼等は政治に干渉し、そして互に勢力爭ひを繰返して居る。憲法は空文に等しく、參議、衆議の兩院は有れども無きが如く、一國の政治を統ぶる國務院の大臣も武人のために人形のやうに操られ、大總統も虛位を擁して居るに過ぎない。支那の現在は帝政時代よりも惡くなつた。共和も民政もあつたもので無い。血醒い妙な動亂が起るのは寧ろ當然である。

蘇浙戰に端を啓き次いで奉直戰となつた支那今次の動亂は、西暦一九二〇年十月の安福派沒落當時にその禍因を發し、袁世凱の歿後に分裂した北洋軍閥は、直隷派の勢力益々加はるに從ひ、直隷派と反直隷派の對壘となつた。辛亥革命の口火を切つた孫文一派は北洋軍閥とは異なつたもので、此の派は專ら廣東に割據して居るが、反直隷派の軍閥は張作霖の奉天派を筆頭に、盧永祥の浙江派、唐繼堯の雲貴派と云つた樣な風になり、之れに安福派の首領であつた段祺瑞とその殘黨を加へ、段孫張三角同盟なども企てられ、そして直隷派に對抗して來た。直隷派が支那本部の十三省を手なづけ、吳佩孚を中心に勢威隆々となるに伴なひ、反直隷派の對抗運動も猛烈となり、竟に今次の動亂となつたのだ。

此の動亂の結果、支那に何んな變化が起るであらう乎、それは今言ひ難いが、誰しも今次の動亂を支那における最後の武力鬪爭とは認めまい。假に直隷派が勝つとしても、吳佩孚によつて支那が直ちに統

一され樣とも思はれぬから、支那は猶ほ紛擾を繰返し、此間種々の變化が起るものと觀るべきであらう頻りに動搖し頻りに變化して行く中に、支那が結局何んなものになるであらう乎は、大いに考ふべき問題だが、吾々は支那の動亂その物よりも其の動亂と變化の間における關係列國の嚮背に注意したいのである。支那問題は東洋の問題であると共に世界の一問題であるからだ。それには先づ英米兩國の支那に對する思惑を討檢する必要がある。

嘗て支那を『眠れる獅子』と見た歐米國人も今日は支那を『臭きに居て臭きを知らぬ豚』と看てゐる樣だ。『支那は支那自身の力で救はれない』とは、英のブランドや米のウッドヘットなどが一時盛んに論じたもので、此の斷定から彼の支那共同監政なるものが起り、支那人にやらせると政治も經濟もその利己心のために何一ッ滿足に能きないから、列國共同して支那の財政と鐵道を管理し、支那を國家らしい國家にしてやらう、現に關稅も鹽稅も郵制も外國人が手を付けて滿足なものになつたではないか、と云つたやうな次第で、米國銀行團代表ラモンドの奔走で出來上つた四國對支新借款團なるものは其の前提とも云ふべきものであつた。本年五月の臨城事件に英國が支那鐵道警備案を出したのも此の底意からであつた。華府會議で支那のために肩を持つた米國も支那を支那自身で救ひ得べしとは見てゐない。我國にも共同監政論に共鳴した者があつた。

此の支那共同監政は、一面において支那の面目を立てる爲めに勢力範圍の撤去、租借地の返還、居留地の還附、それから領事裁判權の撤廢、關稅自主權の回復、外國駐屯軍の引揚、外國郵便局の廢止、則ち支那の國權回收を認めやうと云ふのだ。つまりお互に支那を救ふには、先づ支那における各自の繩張を棄てゝ了ひ、そして支那を國家並の國家として待遇し、五年乃至十年もかゝつて列國共同の力で支那を救はうと云ふのだ。寔に御親切なわけだ。支那に租借地も勢力範圍も持つてゐない米國には最も都合のいゝ計畫だ。處がそれは支那に取つて痛し痒しであつた。國權回收は望む所だが他力で救はれるのは甚だ面白くないと云ふので、當の支那が餘り乘氣にならず、四國新借款團にも逃げを張るといふ始末であつた爲め、此の支那共同監政は遂に物に成らなかつた。併し英米兩國は今日でも『支那は支那自身で

救はれない』と見てゐるから、支那の動亂と變化とに依り、また何んな妙案を編み出すか知れたものではない。大いに注意すべき事である。

日本が滿蒙に特殊地位を有するは、日支條約上の取極から云つても、其の既得權から云つても、日露戰役當時より有形無形の多大なる犧牲を拂ひつゝある點から云つても、日本の新領土たる朝鮮及び露領西伯利との關係から云つても、當然過ぐるほど當然で、國際間にも自ら認められた事實である。然るに支那共同監政なるものは、列國の支那に有する一切の權利を支那に返還して列國共同の下に新たに支那を救はうと云ふのであつて、其中には滿蒙も含まれて居るから、日本としても考慮せざるを得ない點がある。華府會議の極東委員會で支那における租借地の還附を決定した時、日本は當初の聲明通り山東を熨斗付けで支那に還附する事にしたが、此時支那に起つたのは旅大回收問題で、同時に滿蒙以外の支那本部に到るところ排日熱が高まつた。直隷派は此際盛んに排日を煽動した。而も英國の威海衞還附や佛國の廣州灣還附は其後一向に煮ゑ切らない。恰も日本だけ槍玉に上げられたやうなものだ。

吾々は特に滿蒙を重視して支那全體を輕視せよとは言はない。支那と歷史的にも地理的にも關係の深い日本としてそんな事の能きる筈はない。そこで世界的國際的問題たる支那の事については、日本は成べく列國と相共にし、協調主義の外交に協調すべきであるが、一面日本の立場と使命とに鑑みて、贊成すべきは則ち贊成し、反對すべきは則ち反對し、協調主義の外交の外に自主的外交の實を擧げることにせねばならぬ。協調外交に捉はれて英米兩國に引摺られて行くやうな事ではならぬ。滿蒙に特殊地位を有する點から云つて殊に然りである。

支那の排日は最近に至り一變して普遍的排日となつた。下手なことをすると團匪事件の二の舞を演せぬとも限らないが、斯うなつたのは自ら據るところありで、それは臨城事件に對する英國主唱の支那警備案に端を發し、それから金フラン問題、華府會議の決議による支那特別關稅會議の延期、英支人衝突の豐臺事件や李義元事件、露支協定後の東支鐵道問題に對する關係各列國の態度、駐支露國公使館引渡しに對する北京外交團の措置など、何れも支那の排外氣勢を高めしめた原因だ。此内には勿論我が日本

も含まれて居る。或點より見てこは列國の支那共同監政計畫に對する支那の牽制策かとも思はれる。此の狀勢から云っても、日本としては列國協調主義の外交に何から何まで盲從し能はぬわけで、此邊にも**自主的外交の必要**があると云ふものだ。

既に自主的外交の必要がある以上、支那今次の動亂に際し、動亂その物よりも、之より生ずる變化の如何に深甚の注意を拂ひ、以て善謀善處すべきが日本の職分だ。一黨一派に偏倚して呉だの張だの直派だの反直派だのと騷ぐは愚かなことで、自主的外交とはそんなものでは無く、日本の立場、滿蒙における日本の特殊地位、東亞に對する日本の使命と云ふ大所高所から割出して變に應ずる機宜の手段を取るのが自主的外交だ。今日は正しく此の自主的外交の實を發揮すべき秋だ。そして此の機會に大正五年の日支條約を改訂することにせねばならぬ。

謂ゆる二十一箇條と稱せらるゝ大正五年の日支條約は、當初より第五項を無きものにし、山東に關する條項は消滅し、華府會議で滿蒙に關する條項中の二三の優先權をも放棄したから、二十一箇條なるものは事實存在してゐない。既に幽靈化した此の二十一箇條を問題にして支那が騷ぎ散らしたのはお茶番狂言といふものだ。此事は支那も今は十分悟つたであらう。仍って又とない此の機會に日本は支那を動かして此の條約の改訂を促し、滿蒙における特殊地位を一層鞏固にし、東亞のために支那との共存共榮を具體化するやうに努めなくてはならぬ。斯くして甫めて自主的外交の實が擧がるのだ。

今次の支那動亂が果して何んな結果を招くかは逆睹し難いが、直派と反直派のどちらが勝つても負けても支那の統一は容易に望まれず、引續き尙ほ擾亂を繰返へすであらうから、日本はそのつもりで融通の利く彈力性のある對支政策を樹つることにせねばならぬ。奉直孰れが勝たうとも、支那今次の動亂が如何に結末を告げやうとも、我國は獨自一流の政策を樹てゝ支那に臨まねばならぬ。支那をバルガン化せぬやうに東亞全局のために籌備畫策する所がなくてはならぬ。列國の利害關係が錯綜してゐる支那の爲めに、我國は今日までに隨分と馬鹿な目に遇って來たのだから、支那今次の動亂とその之より生ずる變化に注意し、今後はしつかりと犢鼻褌を締めて掛るやう覺悟すべきであると思ふ。



二市一府の社會施設

東京市、大阪市並びに京都府の社會事業

大連聖徳會事務長宮武喜三太氏は惡魔に依りて攪亂されたる聖徳會の内容改善に努力しつゝあるが同氏は關東廳囑託の下に本年二月大連出發內地に赴き約壹ヶ月餘に亘りて東京、大阪兩市、京都府香川、愛媛、兵庫、栃木、愛知、岐阜、滋賀、奈良、長崎等二市一府九縣の各社會施設を調査視察せり今その調査に係る東京、大阪兩市及び京都府の分を茲に揭ぐ他は追つて揭載すべし(記者)

東京市の社會事業

(一)救療事業(東京市施療病院) 本院は市內居住者にして醫藥を得るの資力なき傷病者に對し施療を爲すの目的を以て、三井家よりの寄附に係る十萬圓を基金とし、明治四十四年三月開設せられたるものにて、既に十餘年を經過せり。此間其の事業累年進展し來りしが、近年經濟界における恐慌の影響を蒙り、細民の數も逐次增加し、殊に大正十二年に入りての事業成績は從來の記錄を破りて甚だしく昇上したり。昨大正十二年の如きは取扱患者十二萬五千三百八十五名を算するに至れり。

(二)失業保護事業、(イ)職業紹介所) 本所は社會的救濟事業の一機關として明治四十四年十一月淺草芝の兩區に各一ヶ所を開設したるを始めとし、現在市設のもの十三ヶ所あり。是等は互に相聯絡し、中央職業紹介所に於ける統一聯絡部之が統制の任に當り、每日需給の交換に通報を發行して相互に有無相通じ、尙ほ東京府職業紹介所交換部と聯絡して、市設以外の職業紹介所とも勞力需給の調節を圖りつゝあり。職業紹介所の附設事業としては勞働者の宿泊簡易なる紙管手工品の製作授產等を爲さしむるの外中央職業紹介所內に職業指導の爲め少年相談部を特

設し、尚は内職品展覧室をも設置し居れり。

(ロ)方面委員) 方面委員制度は其の土地の狀況に精通せる篤志家に委員を囑託し、關係區域内に於ける一般生活の狀態を審査し、各種社會施設の基礎的材料を提供すると共に、少額收入者の指導救濟を徹底せしむるは勿論、家政、育兒、衞生事項等を初めとし、凡そ生活安定に關する施設は悉くこれを攻究し、以て民衆生活の不安を除くと共に、進んで生活の向上、福利の增進を計り、併せて各種事業團體の改善及び普及を促がし、之れが運用を有效ならしめ斯くして自活の根底を堅固ならしむるに在り。

當市の方面委員は時勢の現狀に鑑み、先づ勞働者並に少額收入者の比較的多數居住する下谷區に大正九年十二月、深川區に同年一月それ〴〵各委員を依囑し、大正十年一月より各方面事務を開始せり。爾來其の成績の漸次認めらるゝと共に、大正十一年一月本所、淺草の兩區內各方面に該委員を設置し、更に六月には京橋、芝兩區內に各二方面、七月には小石川區內に二方面、十二月には四谷區內に一方面の各委員を依囑し、着々普及を計り居れり。

(三)兒童保護事業 (イ)幼少年保護所) 幼少年兒童にして東京市內を中心に諸所を徘徊浮浪するもの又は賴るべき知己親戚等なくして將に浮浪せんとするもの尠らず。是等の憐れむべき者にして且危險なることは有識者の夙に認むる所なり。依つて東京市に於ては小石川職業紹介所開設以來、少年の求職者に對して特に細心の注意を拂ひ、之が保護に努め或者は父兄に引渡し、或者には適當の職業を紹介せしに、其の結果良好にして、浮浪兒童一時保護機關設置の必要を感ずるに至りしにより、大正二年四月小石川職業紹介所の附帶事業として初めて兒童保護部を設置し、彼等の境遇を改善すると共に其の墮落を防止する一機關となし、漸次擴張して今日に至れり收容兒童の多くは不規則なる生活をなし來れるものにして、心身上に缺陷を有せるもの多きが爲め、半ヶ月の收容期間中、一面規律的生活に入らしむると共に、一面能く心身上の診査をなし、以て適當なる方途に就かしむるの道を講じつゝあり。

(ロ)託兒場) 少額收入者をして就業に際しての繫累を脫し、生產能力の增進を計らしむると共に、兒童を敎育的に取扱ひ、且兒童を通じて家庭の改善を計らんとするの目的にて託兒場を經營することとな

り、先づ其の一を本所區入江町に設置し、之れを江東橋託兒場と稱し、大正十年六月より事業を開始せり。猶ほ同年九月同所に健康兒童相談部を設け、一般家庭の依頼に應じて兒童の健康診査をなす事とし囑託醫專ら之に當れり。次に深川區富川町に富川町託兒場を設置し、大正十二年二月事業を開始し、更に進んで健康兒童相談部をも開始せり。

(ハ)産院)　輓近乳兒死亡率の年々增加し來るは憂ふべき現象なり。想ふに是れ母體の健康狀態が年々低下し來れる結果にして、そは住宅の狹隘且不潔なる等に因るところ多しと雖も、一般姙婦の衛生思想に乏しきと、其の出産時に於ける手當の往々不行屆なるとに依りて生ずること、最も大なるは疑を容れざる所なり。仍て東京市にては下級階級者の姙産婦を保護せんが爲め、產院建設の計畫を樹て、深川區東森下町に之を設け、分娩費用は凡て無料とし、唯入院中の食費のみを支辨せしむる事とせり。

(ニ)哺育院)　乳兒死亡率の增加は文明各國に於ける共通の現象と云ふべくして國運發展の爲め洵に寒心に堪へざるものあり。我國に於ける近年の趨勢もまた同樣にして乳兒の死亡數は毎年數十萬を下らずと稱せらる。之れ畢竟するに輓近の社會組織殊に經濟的生活關係の變化に基くところ多きが如きも、而も醫學的監督、個人的手當及び設備、其他注意の缺如に由る所あるは勿論なり。されば東京市に於ては主として極めて經濟的不遇の地位にある家庭の孤兒を保護する目的を以て深川區富川町に託兒場を設置し、大正十二年二月より之を開始せり。此の託兒場に入場すべきものは生後滿一ヶ年以下の乳兒にして其の保育料は一日金三十五錢なりとす。

(四)住宅供給事業　(イ)市營住宅)　住宅の不足は之に伴ふ家賃の昂騰と共に市民に至大なる生活上の脅威を與ふ。茲に於てか東京市は社會事業の一端として住宅不足の充實と不當なる家賃の調節とを行ひ以て都市生活の住に關する不安緩和の爲め市營住宅建設事業を起せり。現在は京橋區月島に二ヶ所、本鄕區眞砂町及び淺草區馬道に各一ヶ所あり。

(ロ)貸家、貸間無料紹介)　輓近住宅拂底を奇貨として多くの不正周旋業者現はれ、住宅探求者の弱點に乘じて種々なる惡竦手段を弄し、以て暴利を貪るを常とす。東京市は之が對應策を講ずるの必要を認め、社會政策の一端として貸家、貸間無料紹介所を

開始し、事務所を市廳内に設置し、貸家貸間の提供申込、慫慂に關する「ポスター」宣傳をなし、併せて家主臺帳の整理をなし、家主に對し貸家提供の依頼狀を發達する等頗る努力しつゝあり。

(五)簡易食事と宿泊所供給事業

(イ)公衆食堂 東京市公衆食堂は社會政策上繁激なる都市生活者の爲めに低廉にして且つ簡易に食事の供給を爲すを本旨とす。大正九年神樂坂と上野とに公衆食堂を開始し、爾來着々其の實績を擧げ、利用者の數極めて多きを以て、更に五ヶ所の食堂を增設せり。

(ロ)簡易宿泊所) 木賃宿生活を餘儀なくせる人々の爲めに、宿料低廉にして居住清潔なる宿泊所を提供し、併せて彼等に對し勤儉力行を勸説し、或は品性の陶冶に努め、以て放縱不規則の生活より脱せしめ、其の社會的位置の向上を爲さしめんとするが此の事業の目的なり。東京市は夙に淺草、芝の兩職業紹介所内に宿泊所を附設し、一部の希望に應じ來りしも、輓近世態の推移に伴ふ勞働狀態の變遷と在來の弊習多き木賃宿の實情とに鑑み、更に設備の充實せる簡易宿泊所を建設するの計畫を樹て、本所、深川の兩區に各一ヶ所の宿泊所を建設せり。本宿泊所に於ては宿泊者の思想を向上し、品性の陶冶を圖り併せて將來獨立の計を定めしめんが爲め、毎月二回適當なる人を招聘して講話會を開催するのみならず或は簡易保險加入を勸誘し、或はまた貯金を獎勵する等、專ら其の向上に力を致しつゝあり。

以上は東京市の施設なるも、是れ以外猶は救世軍兩本願寺並びに賀川豊彦氏等の施設に係る社會事業あり。事業の性質は略々市の施設と同一にして、何れも良好なる成績を擧げつゝあり。

大阪市の社會事業

(一)兒童保護事業 大阪市に於ける本事業は大體二種類に分類することを得。一は貧兒、不良兒の感化、異常兒の保護等消極的救濟の施設にして、一は胎兒、乳兒及び幼兒の保護を初め、一般兒童に對する教化養護を主とする積極的施設とす。後者に屬する大阪市の事業は産院、乳兒院、託兒所、兒童相談所及び少年職業相談所にして、何れも設備整頓し居るのみならず、成績もまた良好なり。

(二)職業紹介所 市の經營に係る職業紹介所は現在二十一ヶ所あり。是等は互ひに密接なる連絡を保

ち、更に進んで市內に於ける公益職業紹介所間の聯絡をも圖り、市立中央職業紹介所をして其の中央機關たらしめ、求人票及び之に伴ふ必要なる事項の全部に亘つて完全に聯絡を保ちつゝあり。

(三)住居事業　(イ)共同宿泊所)　共同宿泊所は今宮、西野田、鶴町の三ヶ所にあり。市內及び其の附近にある下級職工勞働者等のために低廉にして清潔なる宿泊所を提供するものにして、一面更らに彼等の生活改善と思想善導に努めつゝあり。

(ロ)市營住宅)　市在住者の中產以下の人々に對し、低廉にして清潔なる住宅を提供し、以て居住の安定を與へ、生活の改善を促がさんことを目的とし鶴町、櫻宮、堀川の三ヶ所に大小各種の住宅一千二百三十一戸を建築し、住宅附屬の設備として託兒所の外に共同浴場及び理髮所の設けたり。

(四)生活必要品供給事業　大阪市は生活必需品供給施設として公設市場を設け、成るべく簡易に精良にして廉價なる物資の供給を圖り、別に食堂を設置して炊爨の勞を省き且榮養に富める食事を提供する方策を講じ、以て生活上の利便を計りつゝあり。更に近く中央公設市場を設置して生產物を原產地より

大量輸入するの計畫を立てたり。而して公設市場は二十一ヶ所、簡易食堂は七ヶ所あり。

(五)保健事業　(イ)救療施設)　大阪市の救療施設としては、曩に刀根山療養所及び實費診療所を設けたるが、次いで五百名を收容するに足る設備及び內外共に整へる市民病院を建設せり。

(ロ)浴場及び理髮所)　市民保健の見地より、市營住宅居住者及び其の附近の勞働者に對し清潔なる浴場を供せんがため、櫻宮に一ヶ所、鶴町に二ヶ所の市營浴場を設置せり。理髮所もあり。之れは市設住宅居住者及び共同宿泊所の宿泊人の利便に供し、調髮の機會を失はず衞生を保たしめるためんが爲めにして、今津外三ヶ所に其の設備あり。

(六)救護事業　窮民、迷兒、棄兒等の救護事業は財團法人弘濟會に於て之に當りつゝあり。

(七)文化的事業　(イ)市民館)　本館は歐米に於ける社會同化事業を參酌して設立されたるものにして敎化、娛樂の施設に依り、主として附近民衆の間に近代文化の福音を宣傳普及し、以て之が啓發を圖ると同時に、一般市民に對しても自ら堅實にして趣味ある都市文化生活の中心と爲るを得せしめ、淸くし

て新らしき一大ホームを形作り、以て市民性の涵養と生活の改善に資せんとするにあり。

（ロ）人事相談所）本相談所は市設住宅に居住するもの及び共同宿泊所に宿泊するものゝ爲め、一般人事に關する各種の相談に應じ、以て處世上並に生活上の便益を與へんとするに在りて、市設住宅事務所及び共同宿泊所の構内に附設しあり。

（ハ）社會問題講演會）近時社會の實情と一般の趨勢に伴ひ、漸く文化問題の高唱せらるや、大阪市は卒先して社會問題巡回講演會を開催する事となり、調査機關を附設し、各方面の從業員之れに參加し、以て市民文化の促進に極力努めつゝあり。

京都府の社會事業

（一）窮民救濟　窮民救助の機關は現在十三ヶ所あり。是等の經營は宗教團體及び篤志家の寄附行爲によるものにして、當事者熱心に努め居るため孰れも優良なる成績を收めつゝあるが如し。

（二）救療並に姙産婦保護　本機關は現在十三ヶ所あり。之が經營は財團法人又は個人之れに當り、其の内トラホーム治療所は京都市の經營に係る。是等の治療機關の存在する所は舞鶴海軍工廠職工共濟會病院を除く外は唯京都市あるのみ。

（三）育兒事業　京都府は佛教を始め各宗教とも隆盛の土地なるを以て、是等宗教團體に於て經營せる慈善事業も多數にして、現在三十五ヶ所の育兒院の設けあり。是等は何れも相當の資産を有し、基礎確實にして成績もまた隨って良好なり。

（四）特殊教育事業　京都府の特殊教育は盲啞聾教育、貧兒教育、低能教育及び吃音矯正にして、現在其の機關七ヶ所あり。是等は市立、私立及び財團法人に依りてそれ〴〵經營されつゝあり。

（五）授産及び職業紹介　職業紹介所は現在京都市に五箇所あり。舞鶴には海軍下士官兵卒の家族に醇良の風習と力行の美風とを養はしめ、尙ほ産を授け以て後顧の憂ひなからしむる目的を以て設立せられたる財團法人舞鶴海軍下士官兵卒家族共勵會なるものあり。成績概して良好なるが如し。

（六）感化事業　不良兒の感化保護の目的を以て船井郡園部村に設立せられたる府立淇陽學校あり。極めて眞面目に行はれつゝあり。現在の收容兒童數六十名、他に委託せるもの十八名あり。

學科は小學校の敎科に準し、實科として農業及び手工を併置し居れり。成績頗る優良なり。尙ほ出獄人保護事業は現在二十五箇所あり。是等は財團法人又は佛敎團體の經營に係り、内七箇所は京都市内にあり。京都府内の社會事業も市の方面と相待つて今後益々發達すべき趨勢を有し居れり。

東京の勞働者敎育機關

在東京　一記者

東京方面に於て專ら勞働者の敎育を目的とする學校は其の數必ずしも多くない。則ち日本勞働總同盟會長鈴木文治氏の主宰する勞働者敎育協會の手によつて日本勞働學校なるものが經營せられつゝあるの外同種の學校としては他に纔かに三四を算へ得るに過ぎない。然も此等の諸學校としても昨秋の大震火災に崇られていづれも一時その授業を中止するの已むなきに至つたが帝都の復舊に伴ひ追々と開講を見つゝあるを以て玆にその概況を記して見る。

日本勞働學校（芝區三田四國町）　本校は震災の翌十月十六日より授業を開始したるが、初學期の入學者百三十名の中、震災の爲め失職又は轉職せるものを生じ、現在の出席者は六十名内外に減じた。其のうち關東鐵工組合員二十二名、同月本鑛夫總聯合會員五名あり、外に組合に加盟せざるもの二十九名あるが、生徒の大部分は機械職工である。學科は哲學概論と經濟史等である。又同校は新たに北豐島郡日暮里町に城北分校を設置し、此には生徒百名を收容すべき設備を爲して居り、學科は經濟學二十時間、勞働運動史二十時間、社會學二十時間、勞働法制二十時間、勞働組合論二十時間、英語四十時間で外に自由研究、科外講義等も試みて居る。

中央勞働學院（本鄕區元町）　從來は小石川區表町に設置されてあつたが本年一月肩書の地に移轉し

だ。收容人員七十名なるも、現在の生徒は三十名にして、授業料一箇月五十錢、修業年限一箇年、入學資格滿十七歲以上であつて、一週三日(月水金)午後六時より九時までの間に授業するのである。**經營者たる貴族院議員福原俊丸氏が經費の大部分を負擔し**其他は篤志後援家の出捐に俟つて居る。

勞學院(芝區西久保神谷町)　昨秋の震災に類燒の厄に逢ふたけれども、經營者安部獸爾氏熱心に之が復活に奔走したる結果、其後芝公園內に五百坪の土地を借入れ、同所に木工所を建て、其の生徒をして勞務に服せしめつゝ、傍ら經費の幾分を補ふの方法を案じて居る。從前の院生は二十名であるが、授業料は一箇月一圓にて、本院指定の勞務所に働くものよりは之を徵せざる定めである。本院の經費は篤志の後援者より維持費として一名一箇月十圓以上の提供を受け、其額每月五、六百圓に上り、後援者の中には大倉喜八郎、古川虎之助、澁澤政雄、同秀雄、有馬賴寧、穗積重遠の諸氏もある。

日本勞働學院(下谷區竹町)　本院は財團法人日本宗敎會下谷支部が思想善導の意味に於て創設したものである。收容人員二百名にて、組織は普通部と高等部とに分ち、高等部には中學卒業者を收容する修業年限は之を二箇年とし一箇月一圓五十錢の授業料を徵收する。主として修身、宗敎、經濟、其他の普通學一般及び勞働問題、社會政策等の智識を授ける。經費は日本宗敎會その大半を負擔し其他は篤志後援者の寄附に依るのである。學科は經濟學、法學通論、政治學、勞働法、勞働史、勞働問題、憲法、民法、刑法、倫理及び社會政策等であつて、尚ほ英佛、獨、露の四外國語を加へて居る。講師は法學博士岡實、文學博士補永茂助、協調會理事永井亨諸氏其他十餘名で、外國語擔當の外人講師も英、佛、獨等各それ〲一名を雇用して居る。

◉外人寄附金で衞生研究所　後藤新平子と米國ロックフエラー財團代表との間で日本に衞生研究機關を新設する話が纏まり日本衞生狀況視察のため去る四月財團を代表してラツセル、ハヴランド、ハイラー三博士が來朝し三週間に亙り詳細な調査を行つた結果此の十一月一日から開かれるロ氏財團理事總會において三博士の報告に基き協議のうへ愈々日本に資金五百萬圓を送金することになつた名稱は衞生研究所として內務省がその膳立計畫を進め帝大敎授で傳染病研究所長長與又郎博士はその準備のため歐米を視察し歸朝と同時に新研究所の所長になる內交涉も既に成立してゐるとの事である。

光榮ある靜岡の岳陽少年團

團杖の代りに木太刀を携へしめる

我が國家興亡の大責任を双肩に負ふて立つべき第二の國民たる少年に堅實なる國民精神と强健なる體力を養成するの必要なる事は今更言を要せぬ。少年團の組織は卽ち此必要を充たすがために起つたのだ今日本國中で最も古い歴史を有し且つ多數を包容し而かも特色を發揮せる二三少年團に就いて述べて見たいのだが先づその第一に靜岡縣沼津市に本部を有する岳陽少年團のことを紹介しやう。

(一)沿　革　この少年團は大正三年八月を以て沼津市楊原に組織されたのだが、當時は今日の如く具體化したものでなく、單なる少年の會合に過ぎなかつた。然るに翌年八月に至り同上香貫に生れたものと合併して玆に始めて少年團を創設し、同時に現在の陸軍少將渡邊水哉氏を團長に推戴し、同年天長の佳節をトして約五百名の團員は挑鄕御用邸前において華々しく結團式を擧げた。初めは沼津少年團と稱したが、間もなく靜岡縣富士郡の岩松少年團及び駿東郡の大岡少年團等が加入し、續いて郡部の團體も續々加入を申込んで來つたので、大正五年十一月に至つて岳陽少年團と改名したのである。現在では加入せる團體數四千餘、團員實に一萬二千數百名の多數に上つてゐる。この團體には特殊のものとして海事思想養成を目的とする海上少年團があり、猶ほ敬神少年團なるものも設けて居る。

(二)綱　領

一、國家的なると共に國際的なること
一、忠君愛國的なると共に世界同胞的なる事
一、遊戲的訓練によりて個性を練磨し各々の性向に適する技能を發揮せしめ團體的精神並びに剛健の氣風を助成すること

(三)實行すべき要目

一、皇祖皇宗を敬拜し天皇に忠誠なること
一、祖先を尊敬し父母に孝順なること
一、自他の名譽を絕體的に尊重すること
一、體力を練り難苦を厭はざること
一、社會奉仕をなすこと
一、總ての他人に好意を以て對すること
一、義俠的なること

一、動植物を愛護すること
一、規約及び命令を遵奉すること
一、常に快活欣然たること
一、質素勤儉なること
一、思想言動の清純なること

(四)宣誓

一、我等は日本男子なり
一、我等は忠孝を基とし禮儀を守り互に相親む
一、我等は心身を練り進んで世の爲に働く

(五)事業

團體的訓練	少年武道及劍舞	國民體操
寒暑早起會	山岳旅行	海水浴
救急法	手旗信號	野營生活
神社佛閣掃除	修養會	規約貯金
勤勞貯金	自治練習	警察補助
火防衛生宣傳	時間宣傳	少年角力
海上作業	善行競爭	

(六)年中行事

一月　伊勢參宮、拂曉運動、神社參拜、寒中早起
二月　義士祭　小楠公祭
三日　陸軍戰捷記念日(戰死者展墓)
四月　照憲皇太后祭　皇太子御降誕記念式
五月　海軍戰捷記念　元寇記念
六月　害虫驅除　少年武道講習
七月　明治天皇祭　大楠公祭
八月　白虎隊記念祭　海水浴　野營生活
九月　乃木祭　菅公祭
十月　報德祭
十一月　明治大帝頌德記念
十二月　義士打入記念

(七)光榮ある歷史　此の岳陽少年團は大正五年三月及び同八年三月の兩回畏くも皇太子殿下の臺覽を辱ふした。次いで同團は同七年八月には淳宮並びに高松宮兩皇子殿下に木太刀並に團員の製品を献上したところ、直ちに御嘉納を辱ふした。

大正八年一月澄宮殿下に團員一同拜謁仰付けられ、御養育係長田内少將より殿下の難有き御思召を櫻花に寄せられた御歌を賜はつた。

同八年八月高松宮殿下御前に於て少年武道を演じて臺覽に供したところ御滿足に思召された。

同十年一月、皇太子殿下には團長を御用邸に召され、奈良武官長より殿下の御思召として本團の發達を御希望遊さるとて優渥なる御諚を賜はり、特に御目錄を賜はつた。同年三月、皇太子殿下御渡歐航海中印度洋に於て岳陽少年團の近狀を御物語りあらせられ、同團の内容まで御悉知あらせられたとの有難

き御思召を名譽團長二荒伯より通知があつたので一同大いに感激して措く所を知らなかつた。

同十年九月、攝政宮殿下歐洲より御歸朝の際、代表部隊は奉迎に上京したところ、同團名譽顧問關屋宮內次官及び名譽團長二荒伯の厚意並びに其の斡旋によつて特別なる優遇を蒙つた。

大正六年三月と同十年四月の二回同團の成績優良の廉を以て靜岡縣より獎勵金を下附された。

（八）本部の役員　左の如し

名譽團長　伯爵　二荒芳德
團　長　陸軍少將　渡邊水哉
副團長　友添佐一　副團長　大場平一郎
同　大石懿星　理事長　木下秀四郎
理　事　二十七名　團醫　五名
名譽顧問　陸軍大將　井口省吾
同　上　宮內次官　關屋貞三郎
外に顧問陸軍中將吉江石之助氏十名

（九）團名と團員數　岳陽少年團に加盟せる地方の團名、團員數及び其の設立年月は左の通りであるが其後五、六の團體加入したので、實際數はそれ以上で、此の指導者のみでも三百名に達した。

團名	員數	設立年月	團名	員數	設立年月
楊原	三七〇	四、八	沼津	一、二〇〇	四、八
大岡	二三九	五、四	浮島	二七三	五、一一
片濱	男四二一 女三二〇	七、一	靜浦	男八七九 女四七〇	一〇、一〇
中駿	七〇〇	一、一三	深良	一一一	一一、三
小泉	六五	同	泉	一八〇	同
富岡	二三	同	清水	一八八	一一、四
大平	八〇	同	須山	六八	同
富士岡	男四八七 女四六一	同	原里	一五四	同
印野	八一	同	玉穗	三〇四	同
御殿場	三八六	同	高根精華	一三二	同
須走	二九	同	北鄕	一七九	同
成美	三一二	同	菅沼	一六七	同
足柄	四〇	同	金岡	一八六	一一、五
鷹根	男二三八 女二三四	一一、九	岩松	二五九	五、三
下狩野	一三六	六、四	內浦	一五二	六、七
義勇	一三四	七、九	奉公	二四〇	同
奬弘	一八三	八、二	西山口	男一二八 女一〇八	一〇、一
堀ノ內	二〇三	一一、三	川上	二五二	同
笠原	二〇五	一二、三	河城	二〇五	同

尙ほ團長の渡邊少將は、既に六十餘歲の高齡なるにも拘らず、各地の少年團指導に盡瘁し、各月の行事は一回も缺かしたことがない。それに武骨一天張りで、乃木將軍のやうな高潔なる人格者なるがため各地の少年團は爭ふて同團に加盟し、渡邊團長の指揮を仰ぐことを無上の光榮として居る。本年六月中大連民政署より大連少年團指導者の一人たる阿左見

廐馬氏が出張視察の際の如きは、白髮白髯の渡邊團長自ら立つて案内の勞を執つたといふ事だが、岳陽少年團の今日の隆盛を見るに至つたのは全く此の渡邊團長の獻身的努力によるものである。

（十二）本團の特色

此の少年團には團杖と云ふべきものがない、其の代りに長さ三尺の樫木を以つて製した木太刀に黑色の紐を卷束して携帶せしめて居る其の理由とする處は這うである。我が國體の精華として國史上燦然として光を放つものは大和魂であるが、大和魂の表象は日本刀であつて實に我國特有の代表物であるから、之を以て第二國民たる團員等の心身を練磨陶冶し、以て忠君愛國の念を涵養せねばならぬと云ふ趣意から、日本刀に摸擬した木太刀を持たせることになつたのであつて、此の木太刀の鯉口の兩側に二荒伯の考案によつて誓の字を刻してある。又旭光の型は團長たる渡邊少將の考案になつたものである。女子部にはヤハリ之れと同樣の旨趣目的からして木製の薙刀を所持せしめ、これに依つて常に薙刀術を練習せしめて居る。

× × × × × ×

行はれた勞働調査

内務省社會局の全國に亙れる勞働調査はいよ／＼十月の十日に一齊に行はれた從來我國では勞働政策其他の施設を樹てるに正確な統計もなく國際聯盟に於ける勞働會議に種々日本から意見を出して賛否を決する場合にも其の基礎となるべき統計が無い爲めに不利益を蒙ることが多い從つて此際事業主にも勞働者にも偏しない正確な勞働統計を作る必要がある事は永い間の懸案となつて居たのであるが愈々全國一齊に三十人以上の工場五十人以上の鑛山は隅から隅まで調べられた譯で其數は約八千勞働者は約百六十萬人で職工工夫は殆ど總動員的に調べ上げられた調査員も正副全部で二萬五千人で事業主と工場使用人とが任命される調査事項は事業票には事業種類、作業時間、給與額其他で勞働者からの勞働票には性年齡、出生地、配偶關係、教育程度、就業年數、賃金等書き入れられるのであるが此の全國に及ぶ調査結果が社會局に全部集まつて來るのは先づ本年一杯で其上で來年の今時分迄には結果發表が出來るであらう此の統計が出來上れば第一に勞働時間の狀況が判つて來るし又工場に於ける男女、成年者と未成年者、獨身と妻帶者、教育の如何等に依る賃金の相違も手に取る樣に數字で示され日本の勞働狀態の縮圖がはつきり現はれて來るから各種の勞働政策の有力なる參考ともなり併せて國際勞働會議の場合に日本の國情に基く主張も出來るし現在混沌として居る勞働問題解決の基礎ともなるわけである。



撫順炭礦の支人勞働者（下）

高橋月南

三、下級勞働者

募集の方法と採用　滿洲に於ける支那人勞働者の移動常なきこと既述の如くなるが撫順炭礦に於ける下級勞働者たる採炭華工も亦この例に漏れない。毎年農繁期になると、彼等は鄉土に歸つて農業に從事し、此間不足を生ずるので、炭礦では募集員を派遣して勞働者を募るのであるが、その採用者中全く採炭作業に經驗のないものは老練なる華工を附して漸次作業を修得せしむる事にしてゐる。募集に關しては別に内規を定めてゐるが其の內規も時代に適應するやうに二、三年位で變更される。唯茲に變更の出來ないのは募集員の資格で、こは其の出身地を募集地とし、且その鄉土に多少の信用あるものとしてある。之れは當然の事であらう。現在の重なる勞働者募集地は青島、濟南、天津、錦州、凌源、朝陽等で、其の地には募集監督及び中繼輸送の事務を掌るため出張員を駐在せしめて居る。

募集人は最初大把頭から選ばれたものに就き豫定の人員を募集し、それを最寄の招工公所又は出張所に集め、駐在員において一々之れが體格檢査を行ひ採炭又は所定の勞役に堪ゆるや否やを認めた上、登錄して指紋を取ることになつて居る。この方法による募集は痛切に不足を感じた時であつて會社自ら募集員を派出する事もあるさうだ。

募集費用と人員　山東奧地即ち濟南地方に於て募集した勞働者を輸送する場合は、山東鐵道と契約を締結してあるから、特定運賃で十八以上の三

等賃銀の半額となる。また青島大連間には各汽船會社との協定がある。目下一人大洋一元六十仙、天津大連間は同一元八十仙、天津營口間は同一元七十仙である。尙その外に途中經費として一日一人に付き銀三十仙を支給し、大連に上陸すれば、大連から撫順までの鐵道運賃を給する。それで山東から募集して撫順まで輸送する支那人勞働者の一人當り實費は約四圓二三十錢になる。會社はそれに對して六圓五十錢支拂つて居るといふから其の差額が卽ち募集員の手當や出張所の經費に充當されるわけだ。

今大正二年以降一昨年迄に募集されて來たもの及び自費で來坑した者を示せば左の如し

大正二年	五一、七〇	大正三年	一、九七八
同　四年	二、五五一	同　五年	二、九六三
同　六年	一〇、八七四	同　七年	一六、八九七
同　八年	一七、二六七	同　九年	一二、〇五六
同　十年	一、三二〇	同　十一年	三、五四二
同　十二年	未詳		

この數字は炭礦で實際採用した人員であつて、三十滿工數に達した者の足止り歩合を見れば、例年六〇%から六五%といふ數を示して居る。

勞働者の爭奪といふ事は何處の炭礦にもある事だが、撫順にても大把頭の勢力爭ひからそれが行はれ遂に作業上にも及ばしたので、明治四十五年に中央招工所を設け、一度甲坑を脫退したものは中央招工所の登録を經て乙坑に轉ずることにし、隨意に轉坑するを禁ずると共に、各坑に於ても隨意に勞働者を採用することを許さず、必ず招工所を經ることになつた。その結果、この弊害を除去することが出來たのみならず、大正八年から勞働者の「顏檢査」を中止して、單に名簿の登録にのみ止めることになつた。又外部からの盜募に對しては、保安係、華工係に巡邏夫を設けて取締ると共に、一方警務署に依賴して萬一の場合に備へてゐる。然るに最近に至りて奉直戰爭開始さるゝや、炭礦では一日働いて僅か五六十錢しか給せられないのに、募兵に應じて兵士となれば二圓から二圓五十錢の日給を支給されるので、臨時華工には尠からぬ移動があつた樣だ。

作業時間の區別　作業時間は之を三班交代の八時間勞働制と二班交代の十時間勞働制の二種に別けてある。採炭作業に從事する勞働者をして長時間勤務せしむるは、能率の點よりも、保健の點よりも、決して望ましい事でないが、前篇に記述した通

り、勞働時間に無理解なる支那人に對して時間制度を强ふることは不得策であるので、右の如く作業時間を定めたのであつて、工賃の如きも出來高拂ひの制度になつて居る。若しこれを短時間の勞働とすれば、收入を減ずることになるので、彼等勞働者も寧ろ二班制を歡んでゐる傾向がある。會社としては全部三班制卽ち八時間勞働に改正すべく幾度か調査をなしたが、今遽かに之を斷行し得ざる事情があるので、彼等自身に時間觀念の發達するを待ち然る後漸進的に制度を改めることになつて居る。

賃銀と特別支給品　下級支那人勞働者の工賃は支那傭員と同じく小洋を以つて支拂はれる。採炭の工賃は全部既記の如く出來高拂ひとなつて居り稼行三十工數（三班交代制に於ては八時間稼働、二班交代制に於ては十時間稼働を以て一工數とす）を以て一滿工と稱するが、この一滿工に達して始めて工賃の支拂ひを受けることになるのだ。工賃は出來高拂ひであるため各人の能率如何によつて一定しない。最も多いので一工に就き小洋二圓以上を所得し最低は三十錢といふのもあるが、之れを平均すれば一工の工賃六十七八錢になる。處が一滿工は三十工

數であつて、一ヶ月無缺勤のものでなければ、工賃の支拂ひを受けることが出來ない。然るに一ヶ月無缺勤といふことは實際において許されない處であるそれで三十工數卽ち一滿工に達するには何うしても四十日位かゝる。少しく遲れると五十日にも達する其間彼等は工賃の支拂ひを受けることが出來ないので自然借金をする。又彼等の作業督勵の趣意からしても現在の三十工數を一滿工とする制度は實際に於て不適當であると言はれてゐる。それで一部識者間には之を短縮して二十工數を以て一滿工としては如何との問題も起つて居る。會社の經濟からすれば支拂ひを引張るだけ得策であらうが、能率の增進や華工の操縦といふ意味からすれば、二十工數の一滿工制は最も適當なものであらうと思はれる。

尙ほ新米の華工で未熟のため所得の尠ないものには、最初の一ヶ月分の食費を免除し、そして一二滿工に達するまで一工に就いて金十錢の特別手當を給與して居るが、之れは恩典である。

次に舊曆正月、端午節（五月五日）、仲秋節（八月十五日）等には特別食料品を支給することになつて居る。卽ち正月は白麪、燒酒、豚肉、野菜等、五月

の節句には白麵、燒酒、豚肉、粿子、野菜等、仲秋節には白麵、燒酒、豚、月餅、野菜等を給して、遠く出稼ぎせる彼等が祖先傳來の祝日を忘れしめぬ樣にすると共に、併せて敬神の念の助長し、傳統的の良風美俗を維持し、更にこれに依つて平素の勞苦を犒ふのである。是等もまた支那人勞働者の待遇として寔にその宜しきを得たものと言へる。

彼等の生活狀態

（一）直營の炊事　食事は直營の炊事と賣店の炊事の二種になつて居る。會社直營は物價の騰落によつて時々食費の高低あるを免れないが、數年前著しく物價の暴騰した際、會社は工賃値上げの代償の意味合ひで食費の補助をなした其の食費の金額は一ヶ年十五萬圓から最低で五萬圓を下らない。現在の食費は一日金十錢を徵して居るが一日三食の外に入坑時には別に辨當を携帶せしめる。食料は粟、高粱、白麵、包米等を主とし、粟や高粱は粥に、白麵や包米は携帶辨當に調理され、食物は大豆、豆腐、野菜、鹽魚等である。

（二）賣店の炊事　會社の直轄炊事は支給された食事以外に註文することが出來ない。この不便を除くため別に賣店炊事の方法を設けたのである。その賣店で販賣するものは日用食料品、温飩、饅頭、包子粟及び高粱飯、豆腐、煎餅、各種油揚、汁物等である。然るに彼等は平素所持金がないので、之れを補ふがため、別に一、二、三、錢の小額食劵を發行しそれを大把頭から前貸しをする。食劵は一日金十五錢を限度とし休業者には貸與せぬ。

以上の炊事の外、宿舍の一部に竈を築いて彼等の何人かゞ組合つて自炊して居るのもあるが、一日十錢の食費は彼等にとつて決して輕少ではない。彼等の月收は高きは二十圓、少なくとも十一二圓を下らないから、食費三圓を差引いて尙ほ被服費、小遣錢等に充分であるのみならず、心掛け次第では若干の送金や貯金は易々と出來るのだが、彼等の多くは酒を飮んだり賭博を打つたりして浪費する。

（三）宿舍の設備　採炭華工の大部分は獨身者であつて會社は彼等の爲めに社宅を設けてある。社宅の收容力は一棟五十人から六十五人までゞ、別に社宅料は徵收して居ないが、採炭華工以外の者がこの合同社宅に宿泊する場合は、社宅料として一箇月一人につき金三十錢を徵する。冬季になれば採暖設備として蒸汽採暖並に温土爐の設備がある。之れに要す

る費用は一切徴收せざるのみならず、電燈料、水道料金に至るまで全部會社で負擔する。これを地方農民に比較すれば採炭華工の生活は遙かに上等である彼等が撫順を滿洲の樂園と稱するは僞はらざる告白である。尙ほ彼等の中で家族を有するものに對しては、別に家族持ちの宿舍を作つてそれに住ませて居るが、當人の希望に依りては市中にも自由に居住せしむる事として居るので、市中に借家をして其處から炭礦に通勤してゐる者も少くない。

(四)賣店の設備　採炭華工は支那傭員の如く會社員の消費組合員となることが出來ない。併し各採炭所ではその所屬華工の便利を計るため日用品の廉賣店を經營してゐる。賣店では日用雜貨、煙草、各種食料品等を販賣し、其の使用人の給料は會社で負擔し、商品は仕入れた原價で販賣して居るから、市價に比し二三割安價である。彼等は斯の如く生活上に種々の保障を與へられて居るのである。

それから各宿舍には一名乃至二名の宿舍番を置いて、彼等の身邊に就いて一切の世話をなさしめて居るが、痒い處へ手の屆くやうな此種の設備は滿鐵でなくては出來ぬと言つて可なりだ。

衛生と保護

(一)診療所と應急手當　元來衛生思想に乏しい支那人勞働者のことであるから、不潔などは頓と意とせず、其の生活狀態は殆ど原始的である。そこで會社は先づ罹病者から救濟することになし、中央部は勿論、各採炭所に所屬の診療所を設け、負傷其他急病者に對してはこの診療所に於て應急手當を施し、重病者は炭礦病院に送ることになつて居る。同時に衛生思想の養成と保健に就いても又それ〴〵種々の方法を行つてゐる。

(二)傳染病と隔離手當　收容者中傳染病に罹つた者がある時は、所定の隔離病舍に送つて治療を施すと同時に、一方患者を發生した宿舍を直ちに消毒し同宿舍内の居住者は之を隔離せしめ、之等の隔離者に對しては隔離手當として一日一人金四十錢を支給する。又募集せる華工が傳染病の流行地を通過する際、又は流行地に接近せる地方で募集された華工である時は、各出張所において各種の豫防注射を施したうへ之を輸送することにして居る。

(三)入浴の設備　更らに衛生思想普及の趣意から五百人乃至一千人位集合して居る處へは、必ず浴場を設けて晝夜の別なく隨意隨時に入浴せしめる。勿

論入浴料金等を徴收するやうな事はない。之れに依つて彼等は一日の勞苦と汗にまみれた身體を洗ひ流し、身を清めて精神上に爽快を覺ゆると同時に、保健の上にも亦自から益するのである。

會社は又斷髮を奬勵して居るが、舊習を墨守して容易に斷髮しないものには、揮發油等を塗布せしめて虱子の發生を防ぎ、各坑には理髮人數名を常置して理髮せしめて居る。その料金は一人五錢で其他は會社で理髮師に補助を與へて居る。

慰問と救濟　(一)慰問機關　各採炭所に蓄音機一臺宛を備ゑ付け、各種の支那歌劇や支那人向のレコードを購入して、隨時之れを娛樂用に使用せしめ、更に支那樂器數種も備ゑ付けてある。入院患者の慰安の爲めには一週一回位に樂子、說書等を演出せしめ、時には各採炭所宿舍を巡回慰問することもある。近來支那人間に歡迎される活動寫眞の如きも隨時巡回せしめ、また支那芝居を年に二三回興行し彼等の慰安並びに娛樂に供して居る。

(二)救濟機關　明治四十四年六月に採炭華工救濟規則が實施されてから、會社は救濟基金を作り、彼等華工が業務に起因して負傷又は死亡した時は、手厚く救濟の方法を講ずるのである。業務に起因しない患者にも治療實費を支給して救濟の途を講じて居る。然し休養期間が長きに亘り、又は遂に其職に堪ゑずして歸還するやうな者には、別に相互的救濟組織なる共助會なる機關を設けて之が救濟に當らしめ其の不足金は會社から補助してゐる。

華工は會社の救濟規則による救濟に對して別に醵金する要はないが、相互組織的にして居る共助會に對しては、毎月工賃の支拂ひを受けたる時、金十錢を醵出する。この醵金に會社其他の寄附金を加へて之を基金とし救濟事故發生毎に詮衡を加へたうへ夫夫規定に從つて金錢を支給するのである。左に參考のため共助會の規程を掲げる。

採炭華工共助會規程

第一章　總則

第一條　採炭華工共濟の目的を以て共助會を組織し華工の醵金及び寄附金を以て基金とす

第二條　本規程において採炭華工と稱するは採炭把頭の配下に屬し而して名簿登記を濟まし其のカードを有するものを謂ふ

第二章　醵金

第三條　醵出金額を左の通り定む
一、採炭に從事するもの滿工々賃受領のとき
但し臨時拂の際は之を滿工と見做す
二、負債其他の毎月末一回の工賃受領のとき
右二項の場合は受領工賃の多寡に拘はらず毎回金十錢を醵出すべきものとす

第四條　同一にして債負人の決算が採炭債負賃の兩方に分たれたる時は其の一方より徵して他の一方を免す、又工賃が手取金なき場合にも等しく免除することを得

第五條　大小把頭は毎月末に把頭手當受領のとき大把頭は手當金百圓につき壹圓、小把頭は毎月金五十錢の寄附を受く

第三章　給與金

第六條　會員病傷死亡又は病傷勤務に堪へず歸鄕する者は左の各號に依り共濟金を給與す
一、兩眼を盲し又は二肢の用を失ひ若くは之に準すべき病傷に罹り終身その自用を辨すること能はざる時は一等級給額以內
二、一肢の用を失ひ又は之に準すべき病傷に罹りて自用を辨し得ざると同時に業務に就くこと能はざるものは二等級給額以內
三、自用を辨じ又は業務に就くことを得るも身體を毀損して舊に復せず、依つて已むを得ず退社するものには三等級給與以內
四、身體を毀損して舊に復せず之が爲め舊業に從事することを能はざるも引續き尙ほ在社するものは四等級給與額以內
五、有家族者にして死亡せる場合は金十圓を弔慰金として其の遺族に支給す
但し此の場合の家族とは本人と現地に於て同居し其扶助を受くる者を指す

第七條　病傷の爲め通院五日を經過するも全癒せず尙ほ通院する者には第六日目より入院者は當日より一日金十五錢の病傷手當を給す

第八條　會員にして以上の給與を受くべきもの若し不都合の行爲ありたるとき又は入會後滿工に達せざる場合は給與せず
特別の場合は審査の上給與する事あるべし

第四章　審査會

第九條　各坑大把頭及び華工係主席並びに庶務課華工係員若干名を以て本會の委員とし名譽會長並びに炭礦長を推戴す

第十條　審査會は本規定に依る給與其他の處分を審査し之を會長に報告するものとす

第十一條　委員中より會計係一名を選任し預金の收支を掌理せしめ毎期收支決算を報告す

第五章　慰問部

第十二條　委員會半數以上の協贊を經て慰問與行

を爲すことあるべし
第十三條　慰問部委員は其部度會長之を命ず
別表…………

私傷者　一等級　六〇圓以內　二等級　四〇圓
以內　三等級　三〇圓以內　四等級　一五圓
以內　入院手當　一日金十錢支給

奉天の失業者救濟機關

在奉天　田原漢東

現在奉天には失業者の救濟機關が三個所設けられて居る、卽ち滿洲勞働保護會、滿洲朝鮮人親愛義會奉天職業紹介所がそれで、前二者は設立後巳に數年の星霜を閲して居るが、奉天職業紹介所は昨年七月創立されたものである。創設の主旨、開設後の成績は項を分つて後述する事とし、抑々奉天に這うした機關が設けられ、之を眞に利用し出したのは近年の事であつて、夫迄は恰も不具者か貧困者を救濟するに過ぎないものと考へられ、是れ等の機關の仕事を無料で宿泊させ、又金品を施與し、病困者には無料で施藥する慈善事業のやうに心得、隨分と如何がはしい妙な浮浪者が舞込んで來たものだ。

然るに其後年を經るに從つて以上の如き誤解は一掃され、此等の機關が啻に失業者の救濟を目的とする計りでなく、勞働の需要供給を調節する社會政策上最も必要なものである事が認められ、一面失業者の增加に伴れて彼等との關係が接近し、社會との交渉も繁多になつた。奉天職業紹介所が新たに生れたのも畢竟此の新時代が産んだ一現象である。從來社會から顧みられなかつた勞働の需給調節を主とする失業救濟機關は、先づざつと斯んな歷史を辿り、そして今日漸く奉天に於ける社會事業として必須缺ぐことの出來ない機運を作り出したのである。之を一轉機として今後いよ〳〵有爲な機關として向上發展

するであらうが、それは徐ろに之を後日に徵する事とし、今此等の施設につき其の創設の趣旨及び成績に就ての概要を記述すると左の如くである。

▲滿洲勞働保護會

本會は奉天の民間に於ける社會事業の嚆矢で、去る大正八年三月宮本天民氏が當時の奉天總領事赤塚正助氏の贊成の下に、滿鐵會社から年額一千二百圓の援助を得て創設したのである。當時の滿洲經濟界は歐洲戰後の好影響を亨けて最も好況を呈して居たので、今日のやうに就職難に苦しむものは比較的少數であつたが、氏は勞働の需要供給を調節すると云ふ產業上の見地から、今一つは勞働者其のものを良化善導し其の社會的地位を向上させると云ふ目的から、敢て進んで本機關を設けたのである。

滿洲の勞働者は精神、筋肉兩方面ともに技術、智識、其他の點に於て母國の勞働者に比し遙かに劣つて居るのみならず、大體において眞面目を缺いで居るものが多い、惡く云ふと滿洲ゴロ式のものが大部分を占めて居る。此等の人々に唯單に飯を喰ふ途を與へると云ふ一時的の救濟を目的とし、本人の性質長所、短所、特徵、從來の經歷等を調査せずに商店または會社に周旋すると云ふことは大なる間違ひで先づ失業者を就職させる以前に如上の諸點を充分に調査し、短所は之を矯正し、缺點は之れを補充し眞面目な人間とした上で適宜に後に就職させねばならぬ。そこで滿洲勞働保護會では求職者を五日乃至十日或は一箇月も半年も同會內に起居させて試練して居る。見込の無い者は初めから入會させないで、見込のありさうな者ばかりを撰拔して收容して居るから此等の者が社會に出て働くことになつても間違ひは少い。宮本氏は年額一千二百圓の滿鐵會社の補助金と僅かな一般篤志家の寄附金を財源として本事業を經營して居るが、その收容者の就職數が比較的少數であるのは、畢竟這うした方針の下に極めて堅實に且細心に經營して居るからであらう。

猶ほ同會では本年の七月から巡回文庫を開始した之れは會の附屬事業として會員を使用し主として家庭の主婦を相手に精神修養と家庭趣味を加味した雜誌を各戶に巡回閱讀させるのである。滿洲の婦人の多くは精神修養方面を閑却して居る。之れが爲め往往にして浮華輕佻に流れる傾向があるので此等の婦

人に精神的糧を與へやうと云ふ趣旨の下に此の巡回文庫を設けたのである。目下會員は百餘名であるが會費は月一圓で、それで三十餘种の雜誌が自宅で讀めるため、會員の申込が多い樣である。猶ほ同會では勞働會員を使つて時節向きの仕事をさせて居るが此の方面は至つて振はないので、會としては幾何の利益も得て居ない樣だ。また人事相談部を設け、種種の相談に應ずると共に、事件に依つては其の調停も行つて居る。大正十二年度における同會の成績及びその保護者の府縣別は左の如くである。

▲救濟保護職業紹介

救濟保護せし人員　一三九名
職業を紹介せし人員　（男三六名 女三名）

右の內、成績の良好なるもの六十七名で、不良なるものは七十二名ばかりである。

▲調停及び人事相談

勞資の調停　二件
一般事件の調停　九件
人事相談　（男三十二名 女七名）

▲保護者府縣別

滋賀	二	德島	三
廣島	七	兵庫	九
新潟	五	佐賀	七
香川	二	熊本	八
山形	一	鹿兒島	九
福井	一	高知	一
愛媛	二	京都	二
山口	三	長崎	七
群馬	〇	大阪	二
宮城	〇	茨城	〇
島根	〇	北海道	一七
大分	七	福岡	四
岡山	二	青森	〇
秋田	一	神奈川	〇
千葉	一	三重	三
東京	七	山梨	二
岐阜	一	沖繩	〇
和歌山	一	宮崎	一
栃木	一	奈良	一
福島	一	鳥取	二
長野	一	石川	二
埼玉	一	愛知	二
富山	〇	岩手	〇
臺灣	〇	朝鮮	三
支那	二	露西亞	三

× × × × ×

▲滿洲朝鮮人親愛義會

本會は田原天牛氏の經營する朝鮮人專門の救濟機關である。去る大正九年南北滿洲一圓に亘る稀有の大旱魃は、奉天を中心とする地方鮮人の水田を全滅せしめ、一萬有餘人の饑餓失業鮮人は雪崩を打つて奉天總領事館及び奉天朝鮮人協會に押寄せ、其の慘狀目も當てられなかつた。當時奉天の官民有志は一萬九千七百餘圓を醵出して是等の不幸なる鮮人を救濟したが、當時天牛氏は赤塚總領事と相談し、同會を設置して根本的救濟を行ふ事にし、差當り一般官民篤志家の贊助金並に附帶事業から得る收益を以て歸國者には旅費を給し、又は衣食の代を施與し、特に罹病者には赤十字、滿鐵兩病院に交渉して施療投藥し、其他商店、銀行、會社、各家庭にも夫れ〲就職させ、家族には副業として藁繩叺莚等を營ませ一面之が販路を斡旋し、また勞働鮮人は同年の秋に北陵農場、興京縣の森林伐採、十間房の汚物掃除、馬糧雜草の刈取等に從事させた。

併し元々同會は斯る一時的救濟を目的として設立したものでないので、水田の全滅を受けた大正十年度の農耕資金を何うするかと云ふ問題に苦慮し、同年一月奉天農耕調資期成會を組織し、奉天省瀋陽及び新民兩縣下四十二箇村に亘る水產被害調査をなし同會員三千餘名が所要する農耕資金二十三萬圓を調達する目的で、創設者の天牛氏は幹部と共に上京し夫れ〲當局官憲に哀訴し、一方京城に於ては朝鮮總督府並びに大正親睦會に對し同一の運動を試みた然るに同年の五月十五日、外務省は本問題の善後研究の爲めに滿鮮會議を開き、赤塚前總領事も上京し種々研究の結果、外務省から二十萬圓を支出する事となり、奉天農耕調資期成會は該支出金の內から分配を受くる事になり、奉天朝鮮人協會の手を經て之を受領し、一方京城でも六千餘圓を得た。

同會は更に支那人地主に利益を壟斷される小作制度を革め、一地方に廣大なる土地を商租し、之を開墾耕作せしむべく、大正十一年大連の和田篤朗氏の所有する奉天省盤山縣下の遼河支流の雙臺子河畔一帶の土地約一千八百天地の水田可耕地を借受け、大平農場と名稱し、五月小作人百十名を移住せしめて開墾に着手した。然るに偶々該地方支那官憲の排外的壓迫を受けて此の事業は一頓挫した。そこで本年

は在奉天赤塚氏の所有する立山地方の水田三百天地の小作契約を成立せしめたが、之れも種々の事情で間に合はず、明春から耕作を開始する事になつて居る。猶ほ本年の仕事としては開原の奥地に百二十天地、皇姑屯に三十天地の水田小作資金を調達して五百餘人の鮮農を移住させる事になつた。

次に彼の在滿鮮人の怨府となつた滿洲保民會の撤廢に對し、昨年十一月同會はパンフレットを作つて朝鮮總督府に於ける滿鮮領事會議に提出し、多數鮮人の福利の爲め一日も速かに撤廢する樣にと建言した結果、保民會は本年二月遂に撤廢された。併し何分にも當局の援助が無く、僅少な寄附金と事業に依る益金とで維持して居るので、經營甚だ困難である同會がその生産事業によりて獨立經營する迄には猶ほ相當の歲月を要する事であらう。目下會員は六千餘名であるが過去五年間の成績は左の如し。

▲職業の紹介　三百三十八件
▲就職者數　二百三十八件　二百九十八名
▲附帶事業たる土木工事從事　十八件　人員　四百五十九名
▲藁、繩、叺、莚製作及び白米販賣　百三十一件　人員　五百五十一名
▲救濟、施藥、施療、入院死亡者取扱　五十七件　人員　六十九名
▲金員、食料品給與並に無料宿泊　百五十八件　人員　二百六十三名
▲水田經營　二件　人員　五百四十名

猶ほ同會では朝鮮內の朝鮮人に滿洲一般の情勢並に在滿鮮人の事情を紹介する爲め昨年六月「滿洲と朝鮮人」と題する一書を京城で發行した。

▲奉天職業紹介所

奉天職業紹介所は昨年七月創設されたもので加藤桂五郎氏が經營して居る。財界凋落後の滿洲には豫想以上の失業者を出し其の創設當時奉天市中の失業者は實に二千餘名を數へた。奉天には已に前記の職業紹介を兼ねた勞働保護會あるも、失業者續出の今日、之のみでは足らないので、幾分なりとも其の失業難を緩和したいと云ふ希望の下に、各方面の援助を得て遂に同會の創設を見たのである。

本會も滿洲朝鮮人親愛義會と同樣に官廳からも滿鐵からも何等の補助が無いので、別派に共存會なる機關を組織し、會員を特別會員と普通會員とに分け特別會員は年額十圓、普通會員は年額二圓五十錢宛

を申込みと同時に受領し、之れを以て維持費に充當して居る。開設以來百六十餘名の會員數に上り、一千餘圓の財源を得たが、本會の事業は職業紹介を主とするもので、事業に依る收益と云ふものは全然無い。唯共存會からの收入が唯一の財源であるが之のみでは到底維持費を充たすに足らないので今日では多額の不足金を生じて居る。そこで加藤氏は會の附屬事業として何か生産的の事業を營み、之れに依つて幾分の利益を擧げ、一面此の方面で失職者を消化しやうと種々計劃して居るが、今のところ何等の成案を得ぬらしい。而かも唯一の財源である共存會の會員は漸次減少し、それ丈け收入が漸減しつゝあるので、益々維持困難に陷つて居るやうだ。

本會は創設後僅に一年三箇月を閲したに過ぎないから、從つて歴史として記する事項に乏しいが、創立後の成績は頗る良好であつて、此の短時日の間に失業者の救濟に相當の貢獻をなした。今それらを詳細に表記すると則ち左の通りである。

(自大正十二年七月至大正十三年五月)

▲求就職申込總數　三百十四名

▲就職者總數　九十八名

▲就職者別

事務員	十二名	外交員	十三名
店員	三十一名	職人	二十一名
日給取	十一名	行商人	二名
女中	八名		

三百十四名の求職申込に對し、就職者九十八名を除ける殘餘の二百十六名中、二十二名は他地方に赴き百八十四名は不就職者である。

(自大正十三年六月至同年八月)

▲求職申込者總　百四十名

▲就職者總數　四十七名

▲就職者別

事務員	九名	外交員	十一名
店員	十五名	日給取	三名
職人	八名	女中	一名

百四十名の求職者に對する九十三名の不就職者の中他地方に出發せる者が二十名である。

▲求職者教育程度別

無學者	九名
尋常小學卒業者	八十五名
高等小學中途退學者	六十八名
高等小學校卒業者	百六十四名
中學卒業及中途退學者	二十九名
商業學校卒業及び中途退學者	十六名

音樂學校卒業者　一名
蠶糸學校卒業者　二名
專門學校卒業者　十三名
女學校卒業者　一名
師範學校卒業者　二名
大學卒業者　五名

▲求職者男女及人種別

日本人　男二百六十一名
　　　　女　十四名
朝鮮人　男　三十四名
支那人　男　五名

此の外最近一部有力者の間に奉天勞働團なるものが計劃されて居る。此は主として筋肉勞働に屬する無職者が組織する一種の自治自活團體であるらしいが其の內容は詳細に判明しない。隨つて現在のところ以上の三機關が奉天に於ける失業救濟機關であるが何れも私營で、而かも滿洲勞働保護會の外は官廳からも滿鐵會社からも補助金を給與されて居らない爲め、一般篤志家の寄附に依らなければならぬと云ふ有樣であつて、財政上困難を嘗めて居る。

船津現奉天總領事は着任匆々失業者の救濟問題に注意を拂つて居る。そこで現在のやうな消極的な施設機關では到底徹底的に其の目的を達成せしむる事は能きないから、以上三種の既設機關を打つて一丸とし、十萬圓程度の財團法人組織による奉天職業紹介所を創設したいと云ふ希望の下に、滿鐵會社、奉天商業會議所、奉天居留民會等に諮り、其の贊成を得たので、其後各代表者を集めて數回熟議した。然るに問題は基本金で、現在の奉天として十萬圓の基金を調達するのは容易ならぬ事であると云ふ懸念から、此の案は將來に讓り、差當り已設の諸機關を援助する方法として會員組織の後援會を設け、最大限度二百五十人最少百人の會員から每月一口二圓以上二百圓乃至五百圓を徵收し、之を三機關に分配しやうと云ふ消極化した案を樹て、過般の協議會で討議したが、積極論者と消極論者の議論區々にして、結局猶ほ研究の餘地があると云ふ事になり、遂に之も物にならず、爾來殆ど沙汰止みとなつた。

此の計劃も何時復活するか、又た將來實現するか何うかさへ疑問となり、危ふく龍頭蛇尾に終らんとして居る。蓋し現在の已設機關に關し、何等かの方法を講じて經營難の域から脫せしめ、本來の使命に向つて躍進せしむる事にしたいものだ。

社會問題彙報

東京市の不良及び浮浪少年

都會が生む不良少年や全國から流れ込む浮浪少年の數は東京市內警察署の臺帳に一度乘つた者の數だけでも數千人を數へるが之れを發見する警察署とその事情を調べる少年審判所と短期間預かる市の收容所とそれから委託する感化院との間に少しの連絡もないので區區になつてゐる市の收容所では一人の浮浪少年が二三年の間に五六回も入つて來るので社會事業で此等の浮浪兒を永久に救ふことは出來ないと困却してゐる最近も或處で二千圓からの金を盜んで豪奢な眞似をして捕へられた十五歲前後の二人の少年や此の夏に鶴見花月園の水泳場の脫衣場專門の袂れらひで廻されて來た十七歲の少年の如き殆どその大膽さに係員も驚かされたと云ふ事である。

收容所に五回も六回も廻されて來る少年の言葉を聞いて見ると警察署は恐いから一切の罪を白狀するが少年審判所は係員が叮嚀に取扱ふから噓を言つても叱られない不良少年收容所は直ぐ外へ出られるから安心である感化院は何でも脫け出ることを工夫しなければならぬと云ふ風に少年が惡い事をすると廻される所をちやんと心得て懸引きして居るのだから社會事業の方が裏をかゝれてゐる譯である絕對に監獄に入ることのない不良少年を逃げられる所へ置く以上何度でも同じ惡事を繰返し感化院でも井ノ頭感化院の例では六十人中一年に眞人間に立返らしむる者は僅かに六人位であると云ふから親が見放し警察が厄介し少年審判所や不良兒收容所で何度調べても同じ結果になるわけで洵に厄介至極と言ふべく此等の不良及び浮浪兒の始末に就いては殆んど行き詰つてゐると云ふ事である。

米國の少年勞働者の保護

少年勞働者を保護すると云ふことの必要は何れの國にてもこれを認め法律を以てこれが保護の規程を定めてゐる處もある亞米利加合衆國ネブラスカ州では少年勞働法を制定してこれを實施してゐるが夫れによると劇場、音樂堂、娛樂場、酒精飲料販賣所、商業用建設物、物品販賣店、事務所、旅館、洗濯所、製造場、球戲場、工場等に於ては使丁或は從業者としては十四歲未滿の幼年者の傭使勞役を禁止してゐる同時に十四歲より十六歲までの少年を前述の職業にあるものが使丁或は從業員として之を傭使する場合には「少年使役認可證」を得た上でなければ使はれないことにしてある此の「少年使役認可證」はその土地における學校監督委員若くは地方學務官によつて發行されることになつてゐる。

その少年は小學校を卒へるか之と同等の學校で八年級の課程を卒へ引續き夜學校に通つてゐる者でなければならぬ之れを見ても如何に敎育に重きを置くかといふ事が解るであらう勿論學校監督委員或は地方學務官がその少年の學力を試驗し體力を檢査した上で「少年使役認可證」を發行する事になつて居るので發育の不完全な少年等に對しては之を發行しない少年の健康狀態には少からず注意してゐるらしい萬一以上の規程に背いて幼年を使役し少年を雇ひ入るゝ事等が發見されるとその傭使者は每回五十弗以下の罰金を處せられ之を許した父或は後見人其他の者が管理者である場合には其の管理者が二十弗以下の罰金に處せらるゝ事になつてゐる勞働の時間はいふ

迄もなく八時間以內に定められ之れ以上は許されず出來得る限り勞働時間の短縮を主眼としてゐる一度雇入れられたものも醫師の診斷の結果體力がその勞働に適せぬことを發見した場合には直ちに差止められる事業の性質により生命若くは四肢に危險の虞れある業務又は健康上德性上に危險の虞れある業務に傭使することは禁ぜられ之に違反するものは五十弗以下の罰金か十日間以下の禁錮に處せらるゝ事になつてゐる如何に少年勞働者の保護に力を致してゐるかは知れるだらう。

市民用の圖書館なき大連市

支那人子弟を敎育する人の言によれば大連市內の何處かに彼等のものとしての圖書館を設立して欲しいと要求する聲が追々繁くなつて來たといふ學校敎育が略行渡ればそれからの當然必至の順序である圖書館を要求するのは文字ある人類としての誠に無理からぬ心事と謂はなければならぬ支那人子弟に對する敎育施設の一として當局者が考慮すべき重要事項たるを失はぬ若し大連市內に一箇の圖書館もなかつたら同樣の聲は當然日本人の中からも上げられやうと信ずるが今市內には半ば社員の參考とし半ば公開的性質を有する滿鐵大連圖書館を初め北公園、電氣遊園、埠頭、近江町及び沙河口、南沙河口の數箇所の滿鐵圖書館のあるために幾分か市民の讀書慾を充たして居るのであらうが市民はそれで不便を感じないか圖書館の設立經營を全然滿鐵に委して何等の不足を感じないであらうか之も大連市が逢着する問題の一ッであらう。

曾て一部の人々によつて市內に博物館或は美術館設立論が唱へられた事があつた固より趣旨として何人も贊成しようが順序として時機として圖書館を先にしたい大英博物館文庫の如く或は近くの旅順博物館の如く圖書館に附設せられぬ事もあるまいが社會敎育上に於ける圖書館の位置に鑑みてその機能を完全に發揮すべく特設せらるべきである市民のものとしての圖書館なき大連に圖書館設置論を聞くことのないのは支那青年の聲に顧みても寧ろ不思議とせねばならぬ大連においては此の夏も或る月の花柳界の收入は總計三十餘萬圓に達しそれで所謂夏枯時の頗る不況だつたと云ふのであるが此の數字は有識者の注意を惹かぬのであるか大連市は他に有益な生產的な消費をしてゐるから此の不生產的消費の三十萬圓位は驚くに足らぬと云ふべきであるか其の邊の消息は能く分らないが若し青年市民に書物と親む機會を與へたら其の結果として此の金額は幾らか減少することを得るのではあるまいかと或人の話をそのまゝ。

貞操の紊れがちな職業婦人

婦人の解放と共に貞操が紊れると云ふ心配は既に言ひ倦きたほど野暮に聞ゆるやうになつたが最近職業婦人の激增と共にいろ〳〵な方面へ貞操上指彈すべき事柄が殖ゑて來たその現はれの主なるものは警視廳の不良少年係の男女事件の取調べ中に最近事務員やタイピスト在職中の者が多いので一驚してゐる事だ次で少年保護司等の取調中にも職業婦人で現在立派な所へ勤めてゐながら二人三人の情人を持つてゐたと云ふ實例が非常に多い中でも婦人職業紹介所では內々貞操上危機に陷る女子が非常に多いと云ふので親や親戚緣者の保護のない獨立の職業婦人は月給四十圓以下では何うしても貞操上危機に瀕するため大いに注意して喰留めてゐるとの事である。

ソコで是等の立場々々の批評を聞くと職業紹介所では月給が下宿料と食代とを拂へば電車賃さへ六ヶ敷くお互に着物の着比べを始めたが最後遂に道ならぬ貞操上の誇まで捨てるに至るのだと批評してゐるが不良少年係や審

判所の保護司側では訊問の結果その職業婦人は大概男を挑んで誘惑したと云ふやうな凄いのが多い爲めに經濟上の不安からでなく時間の自由と家庭から總べての拘束を免れ得た彼の女等の婦人解放の氣分が性の方面へ現はれ出たのだと批評してゐるやうで原因の何れにあるを問はず注目すべき現象である。

大いに誤れる宗教的信仰

鹿兒島縣學務當局では縣下奄美大島における敎育上由々しき問題としての一事件を愼重審議したが事の起りは由來同島は絕海の孤島であるため九州本土の文化も及ばず從つて之まで島民は無宗敎であつた處が最近に至り米國宣敎師達が布敎上頗る有望であることを看取して玆數年來盛んに布敎に努めた爲め現在では島民の約三分の一は基督敎信者となるに至つたが其の結果過激な言動をなすものが漸次增加し來り本年二月十六日縣立の大島中學校で校長廣野藤吉氏が生徒一同を引率して同島名瀨町にある縣社高千穗神社に參拜したとき生徒中に「我々は眞の神の信者で偶像は崇拜せぬ」と言ひ出した事等あり縣當局は事態容易ならずとし縣視學は同島へ出張し主謀者の在學生徒中四年生池田純彥(一八)三年生久保忠志(一七)の兩名に退學處分を命じ漸く解決したが現在同島の宣敎師中で最も勢力のあるのは歸化米人米川基(四二)といふもので此の男は此の學校紛擾當時は盛んに父兄間を說いて校長排斥の暗中飛躍をしたものである。

處が本年六月に至り日米問題が沸騰したので同島に布敎を名として渡來する米國人宣敎師は急に增加し本年九月には十二人に達し縣當局でも同島は古仁屋要塞の所在地で我が西南防禦線上最も重要な地點なので是等外人の渡來に就いて近來著しく其の行動に注意を拂ひ第六師團留守司令官篠田少將並に熊本憲兵隊長沖永中佐は先般大島並に種子ヶ島交通狀態察視を名として同島に向つた米川宣敎師は目下私立高等女學校設立の計畫中であるが其の目的とするところは同島をして基督敎化せんとするものなので縣當局もこれが處置に就いて協議を凝らして居るといふことだ。

失業者の增加と職業紹介所

職業紹介所へ押しかけて來る求職者の數は每年五六月頃が一番減少する時で八月頃からだん／＼殖ゑ九月と十月には俄に增加するのが例になつてゐるが今年は殊に八月になつてから求職者が殖ゑ內地の紹介所には朝早くから求職者が長い行列を作つてゐる有樣である紹介所の方では如何にして是等の人達に職を與へようかと苦心してゐるが何しろ求職者の數が昨年の五割も增加してゐるのに求人者は殆ど三分の一にも充たず就職率も昨年の七割に對して今年は六割前後で年々低下して行くばかりなので紹介所の前途に就て當事者自身が不安の念に驅られてゐる殊に智識階級の求職者は全く絕望の狀態で折角紹介所の性質を理解して是等の人々がやつて來るやうになつたのにその希望を充たすことが出來ないのには紹介所當事者も非常に苦痛を感じてゐるが今のところ方法がなく全くサジを投げてゐる有樣である之れについて東京府の職業紹介所長豐原又男氏は次ぎのやうに語つた。

智識階級の失業者に就いては深く考慮しなければならない問題で思想善導だの何だのと云つても智識階級の失業者を續々作つて彼等を窮乏に陷れて置いて平氣でゐるやうでは何にもならぬ現內閣は經費節約とか行政整理の名の下に盛んに失業者を作るらしいそれに師團減少の計畫もあるといふから此方の犧牲者も決して少くはあるまい先年の華府會議から生れた軍縮の犧牲者さへ漸く今年の五月までかゝつて何うやら彼うやら始末をつけたばか

りで其時も當局者は失業者に就いて何の考慮も拂つてゐなかつたのを吾々が當局者に强硬に抗議し失業者に對して國家が適當の職を得させるやうに指導するなり敎育を施すなりしなければ吾々は斷じて引受けないと言つたので遂に將校連の實業講習となつたが**將校達を會社なり銀行なりへハメ込むことは並大抵の**仕事ではなかつた行政整理も結構だが先づその前にその犧牲者を如何にして救濟するかといふことを考へて適當な方法を講じて貰ひたい政府も多少考へるところがあつたか三十萬圓の豫算を以て現在東京大阪の二箇所にある地方紹介事務局を更に北海道、名古屋・福岡の三箇所に增設するといふが今あるやうな事務局だつたら寧ろ無い方がよいと思ふたゞ統計を作るばかりを仕事にしてゐたのでは一人の失業者にも仕事を與へることは出來ないそれよりも國營を以て智識階級の失業者を專門的に取扱ふ紹介所の設置が焦眉の問題で少くとも東京その他六大都市ぐらゐには一箇所づつは設置して貰ひたいと思ふ。

兒童保護の行屆いた英吉利

歐米に於ける兒童保護事業を視察して歸朝した大島內務事務官の土産話「兒童保護事業が最初に設けられたのは佛國であるが現在では英國が世界中で最も組織的に普及してゐるので英國を主として研究した兒童保護問題が近來歐洲各國で盛んに研究せられるに至つたのは各國とも最近非常に出生率が減少して或**國の如きは出産率よりも死亡率の方が遙に多**いといふ憂慮すべき現象を呈して來たのと一方歐洲大戰後人口が激減したゝめである尙ほ此外に民衆思想の影響に依り金持の子供も貧乏人の子供も普通選擧になれば等しく人間として出生の出發點において何等相違がないと云ふことにも依るのである特に兒童保護事業を適切に考へるに至つたのは婦人の自覺からで歐米の婦人も近來男子に對する反抗を愚なことゝ反省し女は女としての天分と使命とを自覺し兒童保護に全力を盡さればならぬとの考へを抱くに至つた結果である。

そこで保護事業の一例を擧げやう英國では小兒が出生すると直ちに郡役所又は町村役場に出出づると衞生省の兒童保護局から巡廻看護婦を派遣して母親と出生兒の健康狀態を見てドクターに報告し引續いて每週の健康狀態を無料で見て吳れる設備としては母親の爲めに特に母親病院を設け職業婦人や勞働婦人の母親の爲には託兒所を設けて居る尙近頃では母親の健康保護や住宅改良を行つて居る勿論これ等の費用は市町村の公共團體で半分出し後の半額は政府が補助するのである保護者の局長を始め課長等殆ど婦人が行つて居る日本には兒童保護の必要が叫ばれて居ながら失れ**に就いて何等滿足なる施設もないと云ふ有樣**だが日本で此の事業を行ふとすれば民衆や醫師等の自覺に依り先づ以て兒童保護の必要なることを一般輿論としなければならぬと思ふ英國でも其の氣運を作るに廿年もかゝつて今日に至つたのである歐米各國で施設の發達してゐるのは英國が第一で次は米國、白耳義、獨逸、佛國といふ順序である」と。

警視廳で調べた家出の原因

家出人の數は年々著しく增加して行くばかりであるが今年は殊に婦人の家出人が多く一日に警視廳で取扱ふ分だけで平均三十人ばかり此のうち半分以上は婦人の家出で然も若い娘の家出が多い此の六月迄に調査されたものによると六百五十二人中の家出人のうち三百八十八人は男二百六十四人が女であるが男は主に簡閱點呼、徵兵檢査の通知の結果その以前に家出してゐるものが澤山あるので數だけは多く示してゐる其他の家出の原因はと云へ

ば先に統計をとつた所によると一番多いのは駈落一六一、親子の爭ひ一一五、憧憬一一三拐帶八六、痴情八〇、夫婦の爭ひ七八、舅姑との不和七八、失敗七七に次いで出稼、欺罔貧苦若くは惡友の順になつてゐる。

此のうち駈落ちは若い娘に多く家出人の屆のうちでも之れが一番多いさうである主婦には夫の外に情人が出來て失踪するもの卽ち痴情及び夫婦爭ひ舅姑との不和を原因とするものが大部分で男ならば中年の人は出稼、失敗貧苦、拐帶等でやはり經濟上の影響や責任を受けてゐる結果から起り若い者は親子の爭ひや惡友にさそはれて家出するものが多い一體に男女を問はず年若なものは只ふら〳〵と何ものにか憧れて家出の原因を喚びおこすが中年の男女には駈落ちにしても何にしても必ず生活と云ふものが背景になつてゐる之れら家出人の屆出はやはり地方への出入口をひかへた驛の附近の警察に多く東京では上野の三三三、象潟三三一、富坂三一二その他相生、築地、愛宕といふ順序ださうである。

犯罪搜査手段の新舊衝突

犯罪の手段方法がだん〳〵巧妙になつて來ると共に之れが搜査の衝に在る警察官の方でも謂ゆる科學的搜査術なるものが唱へられ今日では若い刑事の大部分の頭は一にも科學二にも科學と云つた搜査方針に固まつて行くと云ふ傾向があり斯うした結果は從來永年の經驗を唯一の金科玉條として見込搜査絕對でやつて居る古い老刑事を「時代に取り殘された岡ッ引」と言つて居るが之に對し又老刑事の方では「新しい知識で行く若輩に何にが出來るか」と馬鹿にしてゐると云つた具合で刑事同士で新人と舊人との睨み合ひは警視廳刑事部を始め東京其他各署の刑事部屋に流れてゐる現象である此の爭ひの爲めに延いては犯罪搜査の能率上にも弊害を及ぼして來ると云ふ事例は尠くない中谷刑事部長は科學搜査と經驗に基く見込搜査との間を行くのが搜査術の眞理であると云つて居るさうである。

新人刑事を罵倒する老刑事の眼には指紋も測身方法もなく現在警視廳に開いて居る刑事の卵養成の刑事講習會を「あんな耳學問が何になるもんか」と冷笑して居るが斯うして近頃流行の科學的搜査を中心にして新舊刑事の暗鬪は永く續けられて行く事であらう警視廳が鍛冶橋に在つた頃から奉職し今日迄に百枚近くの犯人逮捕の賞狀を貰つて居る某老刑事の語る「科學搜査だ何んのと云つたつて何が出來るものか大森のお春殺し蠣殼町の一家鏖殺だつて皆んな私達が主になつて擧げた仕事ですよ犯罪なんてものは今熾んに唱へて居る科學搜査だけで解決出來るもんぢやありません刑事に一番大切な聞込みの素早やさは何うしたつて永年仕込み上げて來たものでなければ駄目です今時の若い刑事は强盜の一つも撿擧したり不良少年の一團を撲滅すると直ぐ敏腕刑事とか何んとか云ふのですが全くいやになる」と之れも新舊思想衝突の一ッか。

關東州に學校看護婦の設置

關東廳學務課では本年度から旅順に二名大連に五名の學校看護婦を設置すべく旣に豫算を要求して居る今日歐米諸國では學校看護婦の必要なことは理論に於ても實際に於ても最早議論の餘地の無いこと〻して一般に承認されて居り我國では明治四十二年岐阜市役所が始めて之を實施して以來漸次その效果を認められ現在二百九十五名の學校看護婦を數へる迄に至つて居るが關東州では昨年武田技師の熱心な斡旋と赤十字社の好意から試みに大連の第二小學校に始めて一名の學校看護婦を傭聘したのであるが其の成績が頗る良好なので愈々これを實施すべき確信を得たのである學

校看護婦の仕事は唯學校の衛生設備に注意したり兒童の體格檢査の手傳ひをしたりするばかりでなく常に兒童各個の保健狀態を觀察して校醫との聯絡を取るのであるが殊にその重要な役目の一つは兒童の家庭訪問であつて學校看護婦は常に家庭を見舞つて疾病や異常の治療矯正をしたり病氣缺席の兒童を調査慰問し又家庭衛生を勸告したりするのであるから是等の事に無理解なる家庭や學校の壓迫から自然の發育を妨げられる兒童のためには一大福音であると當局者は語つて居る。

乳兒死亡率の一番多い國

乳兒の死亡率の多少は其の國の文化の程度を計る唯一のバロメーターであると外國の有名な醫學者が言つて居る世界において吾國位乳兒の死亡率の多い國は其の例を見ない英、米、佛、獨、墺其の他先進文明國に於ける乳兒の死亡率が年々減少しつゝあるに比して吾國の死亡率が年々昂騰しつゝあるのは實に吾國の文化が各國に比して如何に低級であるかと云ふ事が立證される即ち內務省最近の調査に依れば出產百に對し一歲未滿の死亡者は十六、八名に上つて居る即ち一割六分八厘を示して居るのである何故に斯の如く多數に上るかと云ふに一般に乳兒に對する育兒の知識が缺けて居る事と乳兒の育兒衛生に關する施設が全然無いといふ事に依るのである。

日本人は一體に衛生の知識が缺けて居るが就中婦人の衛生知識に至つては殆ど話にならぬ位で女學校の教育を受けて居る者でさへも一般の無教育婦人の衛生知識と變る處がない一家の中に子供が數名出來ても其の半數は乳兒時代に死亡して育たぬのが例である外國では乳兒院とか乳兒相談所とか育兒相談所とかいふ樣な乳兒の育て方や乳兒に關する總ての相談に應ずる所或は無料で乳兒を預る機關が數多く備はつて居るので之等の活動に依つて死亡率の激減を防止して居る吾國に於ても是非此の點に注目して大いに進んで是等の社會的施設を完備してもらひ度いとの聲が高い政府に於ても今後は是等の國家的事業に對しては相當の補助をなすべきであらう。

賣口惡き智識階級の失業者

こびりついた不景氣の影響で事業縮小、財政緊縮、經費節約等の名を以て店員や會社員など謂ゆる知識階級が一人二人と緩漫な整理の鉈に傷ついて行くらしい大阪市立中央職業紹介所では中等學校の卒業を標準とし高等小學出で中等教育相應の學力や夫れに適合した經驗のあるもの知識的の職業に就いてゐたものなどを加へて「知識階級」と命名してゐるが試みに其の統計を見ると本年一月から九月までに五千三百二十名の男と六百二十八名の女が職を求めて來たそして同所の紹介で完全に就職口にありついたのは男が四百二十三名に女が二百二十二名といふ狀態である。

何といつても女の賣れ口はつき易く就職率は三割五分だが男は八分弱といふあはれな數字だ中學出の二十四五歲はぐらつき易い最中でこの年輩が一番多く給料も四十圓から五十圓どころが大部分を占めて居り人生半ばを過ぎて今尙ほ虻蜂取らずで迷つてゐる三十男が次いで多い要するにその半數は中等學校出と少數の專門學校出でこれらの人々はなまじひ學校を出たが故に年齡や給料や地位などが邪魔をして就職の可能性は少からうとのことだ筋肉勞働者には勞働調査が行はれ失業防止や救濟が叫ばれ僅かながらも其の設備が講ぜられてゐるのに生活難に追はれながらうよ／＼してゐる「知識階級」こそは實に慘めであつて今後も不景氣と各方面の整理とに依つて此種の失業者は益々多き加へ來るべく而して這は社會上實に由々しき大問題である。

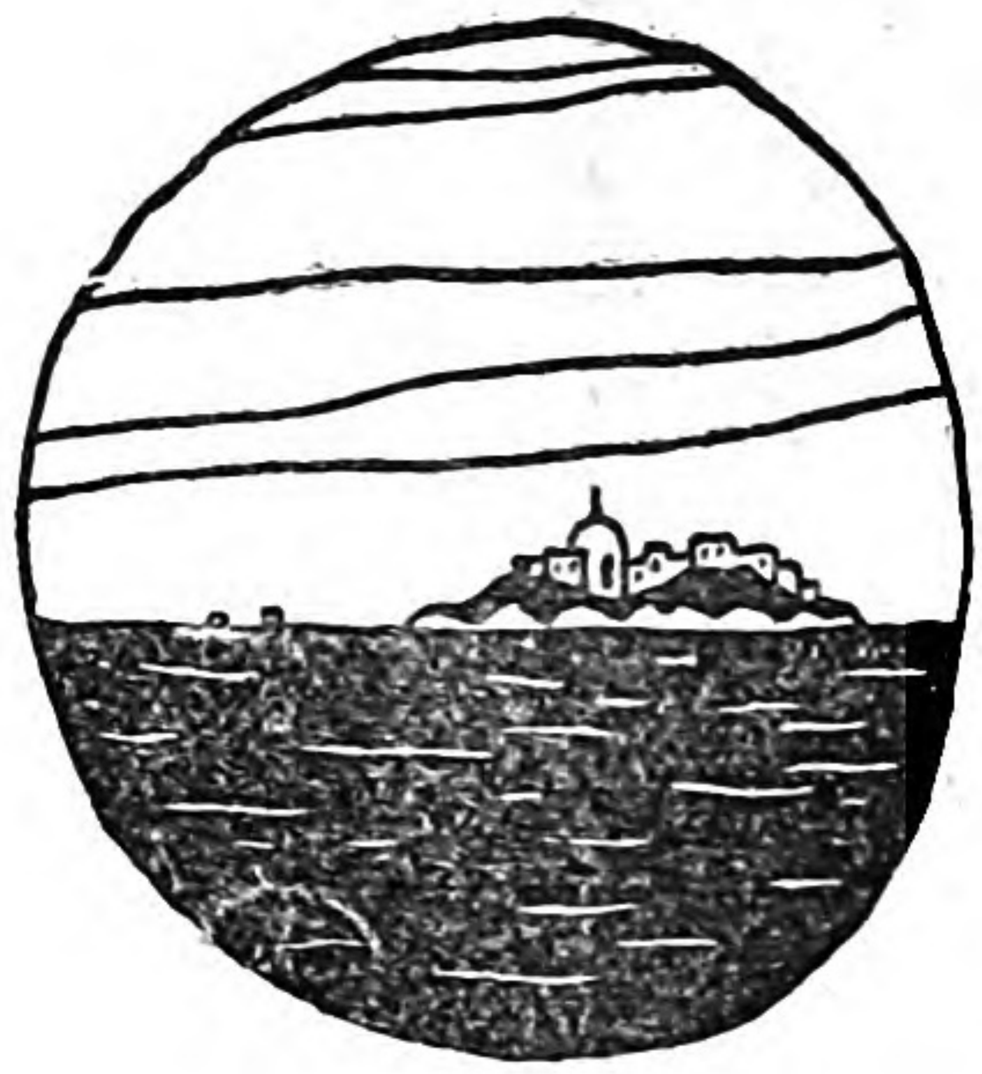
風紀問題

◆九月十五日發行の『法律時報』第六號に『待合料理店の風儀匡正に就いて』と云ふ記事が出てゐた◆匡正は矯正の誤植だらうが逢坂町遊廓豐榮樓の强姦事件や三ヶ月亭の淫賣强要事件などばかりが風紀上の問題ではない◆斯うした事件を取締るのは勿論風紀警察の任務だが待合や料理屋あたりの取締も風紀上極めて必要な事である◆然るに『法律時報』に據ると私娼撲滅だとか花柳界の刷新だとか常に聲を大にする當局は待合や料理店の方面に頗る寛大な態度を執つて居るさうだ◆のみならず洗滌器を備ね付けしめて暗に密淫賣を奬勵せるかの觀があると云ふが果して事實なら甚だ心得難い次第だ◆事實を云ふと今日の藝妓は娼妓と五十歩百歩の差で謂ゆる不見轉藝者なるものは紳士から枕金を取るのを能事として居る◆今日の待合料理店なるものは此の不見轉藝妓に淫を鬻がして居る一種の高等淫賣窟といつた樣なものである◆公娼制度は問題だが遊廓は國家が法律を以て公然淫を賣ることを許してある淫賣窟だ◆この公許的淫賣窟の外に法網を潜つて淫を鬻ぎ春を賣るのがもぐり淫賣即ち私娼でその稼ぎ場所が密淫賣窟だが待合の多くも密淫賣窟の一種である◆公然の默許といふ奴で此の高等密淫賣窟は警察の縄張り外即ち治外法權の下に在つて何處でも大手を揮つて營業して居る◆私娼は此外にも澤山ある小料理店や飲食店の內幕を覗くと之れも一種の淫賣窟で滿洲には蕎麥屋の看板を揭げながら其實淫賣專門の蕎麥屋がある◆彼等に言はせると『若い女を置かないと客足がズンと減る』さうだが事程左樣に蕎麥屋までが淫賣窟化して了つたのだ◆斯んなのは勿論營業違犯だから遠慮なくドシ／＼取締るべしだが警察の治外法權の下に在る高等密淫賣窟たる待合のみが獨り涼しい顏をして居るのは何としても心得難いことだ◆解する者は曰く『遊廓や飲食店あたりの淫賣窟は中流以下プロ連中の生殖放散場所で待合は主としてブル階級のそれだ◆既にブル階級の生殖放散個所であるから資本主義制度の下にブル階級の幅を利かす現社會に於ては警察の威力も終に待合に及び難いのである』と◆成程讀めた斯う言はれて見ると警察の風紀問題に對する不公平不徹底を責める前に先づ今日の社會制度を咀はねばなるまい◆彼の賭博狩りも兎

角小さな奴ばかり檢擧して大きな奴を見逃がして居り又犯罪事件も雑魚ばかりを網に上げて呑舟の魚を逸する場合が屢々有る◆斯んな**事になるのも要するに今日の社會**制度の罪で之を其儘にして置けば弱者のみ虐けられて强者は法律以外に大手を揮つて勝手な眞似をする事になる◆私娼撲滅といふ事は困難だが風紀問題の上から其の取締を嚴重にする必要があるなら小さな淫賣ばかりで無く大きな高等淫賣にも其の取締りの手が伸びなければ徹底的と言はれない◆私娼たる密淫賣の中には昔の『夜鷹』又は『辻君』と云つた樣な種類のものもある◆昔の『夜鷹』又は『辻君』は茣蓙を一枚小脇に抱ねて蝙蝠のやうに夕暮頃から辻に出張つて道行く男の袖を引張り妙な小暗い場所で淫を鬻ぎそして幾らかの小遣錢をせしめたので有る◆是等の多くは今日の謂ゆる生活難から起つたもので此種密淫賣には氣の毒な者もあつた◆**然るに今日の謂ゆる高**等淫賣窟たる待合で淫を鬻ぐ藝妓は置屋又は抱主の慾望の犧牲となつて高い枕金を貪る者や又は特に花代を多く賣るための者が多く何れも贅澤の沙汰である◆中には斯うして特別な旦つくを拵らへ船板塀に見越の松は古いが聽てはその男の圍ひ者にならうと云ふ寸法のもある◆等しく私娼であり淫賣であつても此方は藝妓といふ營業名を有し彈くと踊るを看板にブル階級を相手に遣つて居るので警察も手が付けられ無いのだ◆社會の裏面を覗いて見ると『法律時報』記者の云ふ通り綠陰（綠酒の誤植ならむ）紅燈の影に醜惡なる人間の本然性が幾多の隱れたる罪惡と反道德的な行爲となつて次から次へと展開される◆斯くして娼妓と藝妓を生みそれが公私兩面に別れて到**る處に蛛蜘の巣を張つて居るのだ**から此種の風紀問題を一に警察の取締りにのみ任かして置くのは大きな間違ひである◆妙な私娼や京都の『高等内侍』と云つたやうな高等淫賣とその魔窟がはびこるのは要するに社會制度の缺陷であつて此の問題も社會問題として取扱ふべきものだ◆藝術家と云へば聞ゑが可いが今日の女優なるものにも隨分怪しいのがあつて之等も高淫の部數に入るべき者だらう◆此種の事は人心の弱點と社會の缺陷から起るのだから掃蕩撲滅は容易でないが餘り放任して置くと都市を罪惡化する◆風紀上の問題のみでなく此種の事は都市罪惡化の根源となるから十分注意して欲しい。

善政とは何ぞ

◉人間は人間自身で最高生物だの萬物の靈長だのと云つて居ても食へなくなつて顋の下が乾上ると野獸の樣になつて了ふ◉饑饉時の人間の有樣を思ひ出して看よ近くは昨年九月の震災當時における罹災地の被害民の狀態を回想して看るがいゝ◉生きるには食物が第一だ此點は人間も獸も鳥も魚も虫も同一だ口から入れて咽喉を通る食物が得られ無いで胃腸が欠伸をする樣になつてはお仕舞だ◉人間と云ふ生物は食の外に衣と住とを要しそれで生きて居るのだが第一の食物が得られなくなると動物性の本能を曝け出す◉ぢやに依つて生活の第一義は食を得ることだ人はパンのみで生きて居るのぢやないが又パンなくては生きて行かれないのだ◉靈を活かすには肉を活かさねばならぬ肉を殺して靈を活かす事は能きない凡夫の民衆に向つて喰はないで働けと云ふのは此の上もない無理な話だ◉此頃喧ましい問題の思想惡化も煎じ詰むれば生活難の致すところであるから思想を善導しやうと思ふならば先づ以て凡夫たる民衆の生活難を救はねば相成らぬ◉生活難を救ふのは卽ち社會政策の目的で種々の社會施設も社會事業も萬人にパンを與ゑて飢じい思ひをさせぬ樣にするのが其の眼目となつて居る◉基督敎信者も祈禱の初めに『神よ我等に今日も日用の糧を與ゑ給ゑ』と祈るではないか◉尤も乞食は掃溜など漁つて食つて生きて居るが人間の總てが乞食になつて了つちや片なしだ◉パンを與ゑて肉を活かした上でなければ靈を活かし思想を正しくさせる事は能きないとチャンと相場が極つて居る◉貧民や窮民が殖ゑて生活安が保障されないやうな社會になつては夫れこそ世紀末だ◉さう成つては思想善導も何もあつたものぢやない又それでは文化生活なるものも意義がなくなつてしまふと云ふものだ◉人間以外の生物は自然の衣を有し自然の住を有ち食へさへすれば歌も唄へば舞も舞つて生きて行かれるが人間ばかりはそんな手輕なわけに行かない◉先づ食を得てそれから衣と住とを得て然り而して後謂ふところの生活安を得るのだ◉生活安を得ると共に贅澤になり過度の文化生活に耽溺して却つて大事な靈を汚すものは勿論神の子にあらずとして◉兎にも角にも萬人の生活を安定する樣に努めるのが政治の要道で卽ち善政と云ふものだ。



落ち散る雫

裾野山人

一、子のない代りに

僕には子がない。獨身者で子がないと云ふのなら當り前だが、僕には妻があつてそして子がないのだから不自然的だ。どつちに缺陷があるか知らないが、生物イヤ人間として繼續者たる子がないと云ふのは、甚だ不自然なわけである。併し出來ぬものは何うも仕方がない。

子を產み、それを育て、それを教養し、そして世の中のために役立たせるのは人間としての當然の義務だが、僕には子がないので、その義務が果たせない。貰ひ兒をしやうと思つたこともあるが、帶に短し襷に長しで、適當なのが無かつたため、ツイ其儘にして了つた。此の年になつてはモハヤ貰ひ兒でもあるまいと思つて居る。その代り、間接的ながら青年の世話をした事はある。

汝には子を與ねない、汝には一家のために別に果たさねばならぬ義務が與ねてあるから、と云ふ神の命令

か何か知らないが、子のない僕は二十代から一家のために苦勞した。父母や其他のために多少の微力を致した。つまり最近まで謂ゆる一家の係累といふ奴が不斷に附纏つて居たのだ。處がその係累も今はすつかり取れた。父母は既に地上より去り、弟はそれ〴〵一家を成し、不幸なる叔父も昨年の暮にこの世を去つた。これですつかり身輕になつた。子がないので一層身輕に感ぜられる、肩の重荷が取れたやうな心地がする、と同時に何となく淋しさを覺ゆる。

子を育てると云ふ人間の義務を果たし得ない僕は、人間の資格を缺いでゐる樣なものだが、右の通り一方の人間としての義務は竭したのであるから、之れで差引いて貰ふの外ない。要するに僕なるものは枯れて行くものを見送る義務を負はされ、芽ぐんで行くべきものを育てる義務の履行を缺ぐわけであつて、どつちかと云へば割の惡い方だ。子といふ繼續者のない代りに、既に枯れて行くものを送つた以上、別に何等かの方法を以て繼續と云ふことをせねばなるまいと思つてゐる。

二、盜人は家主なり

臺灣にゐた時、臺灣の江瀬街といふ町外れの淋しい支那式家屋の一間に住んだ事がある。家主は日本の國籍に入つた臺灣人で、ピーポー(字を忘れた)といふ二十代の若者だつた。僕の住んだ家屋は外形だけ支那式で内部には疊が敷いてあつた。家賃は極めて安いものだつた。

其頃飼つてゐた鷄の雛兒のうちに、非常な病身で弱いのが一羽あつたので、妻がそれを小さな籠に入れて大事に育て、寢るときは何時もそれを枕元に置いた。

すると或夜の事、餘程寢靜まつてから、枕元に置いた籠の中の鷄の雛兒が頻りにピイ〳〵と鳴くので、妻が眼を覺ますと、裏口の窓の戸を開けて、一人の竊盜が忍び入り、冬の事だつたが、其處に置いてあつた衣服を風呂敷包みに入れ、更に戸棚の方に忍び寄らうとする處だつたので、妻は大聲を出して叫び、僕もその聲に夢を破られて起き上つた。すると竊盜は吃驚して逃げ出した。

衣類數枚を取られた丈けで、大した被害でもなかつたから、警察へ一應屆けを出して、別に氣にも止めずに其儘にして置いた。すると間もなく家主のピーポーが警察に拘引された。

だん〳〵聞いて見ると、此の家主の若者は酒と女に身を持ち崩し、お負けに賭博が好きなので、金に詰つては手癖の惡い事をなし、處々方々で竊盜を働いたとの事である。僕の家に竊盜に這入つたのも此の家主であることが分つた。『盜人を捕へて見れば我子なり』でなくて、『盜人を調べて見ればおほ屋なり』だと云つて後で大いに笑つたが、此男は間もなく死んでしまつた。

さるにても病身の鷄の雛兒が盜難を知らせてくれたのは不思議である。知らせだのでは無い、變な奴が這入つて來たので、それに驚いて鳴き出したのであらうが、それが妻の耳に入り、竊盜をする家主を中途で擊退し、そして被害の程度を輕くし得たのは、一種の天祐だと思ふ。

三、N君のしくじり

N君は氣丈なしつかりした若者だが、多少迷信を懷いて居ると見ヱて、最近妙なしくじりをした。併しこの失策でN君は之から一層しつかりするに相違ない。

それは斯うだ。或日或處に招ばれて、御馳走になつて、お負けに壽司や梨の入つた土産物を貰つて、夜の十時過ぐる頃歸途についた。處が此邊は町の中でも淋しい處で、細道の兩側に樹木がこんもりと茂り、遙かに町の中の電燈の光りが見ヱても、一帶に薄暗くて何となく無氣味だ。N君はさう思ひながら、貰つた土産物を手に提げて歩いて行くと、急に襟元からゾッと惡寒を催し、風もないのに帽子が飛ぶやうな氣持がするので、慌てゝ帽子を片手で押ヱると、土産物を携ヱた片手が無暗に重くなり、あたりには何にも居ないのに何だか土産物を引張るやうに思はれてならない。N君は此時『アッ狐だな』といふ直感を起し、氣丈な男だけにその場にぢつと踏み止まり、風呂敷に包んだ土産物の中を開けて、壽司を三つばかり樹木の茂つてる暗い方面に投げてやつた。すると直ぐ惡寒が取れ、片手も輕くなつたので、急いで其處を通り拔け、町の中に出で人車に乘つて家に歸つた。歸つてから風呂敷を開けて見ると、壽司がたつた三ッばかり殘つて居るに過ぎなかつたので、いよ〳〵狐にやられたと云ふことに極めて了つた。

私にN君がこの話をした時、雜誌『改造』の『ばけものばなし』を讀んだ後でもあるので、私は能くその前後

の事情を聞いて、それを神經の作用だと推定した。人間は誰しも遺傳的先天的に恐怖心といふ本能を持つて居るので、その恐怖心のために自ら化物を作り出し、或は狐が人をだますの狸が入道に化けるのといふ傳說まで出來たのだが、N君は相當の理智を有しそして氣丈な若者だが、『淋しいな』といふ考へと共に此の本能に支配されて了つて、竟に右のやうなしくじりをしたものと思ふ。惡寒を催したのは、『淋しいな』と云ふ精神作用から出たもので、同時に子供の時分に聽いた『狐が化かす』といふ話が頭に浮び出でた爲め、てつきりそれと思つて、土產物の中の壽司を投り出したのだ。風もないのに帽子が飛ぶやうに思はれたのも、土產物を提げた片手が重くなつたのも、此の場合の神經作用で、片手でしかと帽子を押へ、その方に氣を取られた爲め、他の片手の力が拔けてしまつて、自然と重くなつたのだ。歸つて風呂敷を拔いて土產物の中を調べて見ると、投げた壽司は三ッだけであつたのに、大方それがなくなつて居たのは、少しく氣を轉倒させたので人車に乘るまでの間に慌てゝ何處かに落して了つたのに違ひない。

後で私がN君に之を語ると、もと〳〵理智のある人だけに、成程さうかも知れませんと云つて十分首肯いたのであつた。『改造』九月號を取り出して來て、此中に掲げてある『ばけものばなし』を能く見たまへと云つたら、直ぐそれを讀んでみて成程とます〳〵首肯いてゐた。

とは云ふものゝ、如何に理智に長けた人でも、恐怖心といふ遺傳的本能を有つてゐるばかりか、理智が肯定しても感情が否定する、即ち人間は兎角感情に支配され易いから、能く〳〵注意しなければならぬ。『氣

味が惡い』とか『淋しいな』とか思ふと、本能の恐怖心が直ぐ頭を擡げ出し、それが一種の感情となつて、遂には自分の神經で化け物を出したり狐にだまされたりするのだ。

四、甚だしい大間違ひ

弘法にも筆の誤まり、上手の手からも水が漏れ、猿も時には木から落ちると云つて、人間のする事には兎角間違ひが多い。處が爰に一ッ甚だしい寧ろ滑稽な間違ひ話がある。

明治四十三年八月の韓國併合を記念する其の一年目の事であつたと思ふが、朝鮮の第二都市平壌で其の記念祝を行つた時、各戶の軒頭に掲げ出した提灯に『萬國君代』と墨黑々に書いてあつた。日韓合併を記念するのにバンゴクキミヨは甚だおかしい、第一意味がよく解らない。其處で當時存在してゐた居留民團役所に行つて其の次第を尋ねて見たら、當時民長をして居た大庭貫一翁(既に故人となつた)は呵々一笑して『實は大阪の提灯屋にあれを注文したのだが、朝鮮の國旗のことを問合せて來たから電報でバンゴクキミヨ卽ち萬國旗の書いてある本を見よと言つてやつたのでした、すると屆いた提灯を見ると一様に『萬國君代』と書いてあるので、こりや可かんと思つたが、今更書き變へさせては間に合はないし、『萬國君代』では意味をなさないけれども、何となく目出たい意味が含まれて居るやうにも思はれた爲め、已むを得ず其のまゝ用ひる事にしたのです』と語つた。甚だしい大間違ひとは此事だ。

それに就けても電報の書き方には十分注意したい。イシヤヨベ（醫者呼べ）を石屋呼べと間違へて、石屋を呼んで來たとは、落語にある笑ひ話だが、電報の書き方を注意しないと、往々之に類した間違ひを起す。バンコクキミヨ（萬國旗見よ）を『萬國君代』としたのは、提灯屋の無學の致すところでもあるが、一ツは其の電報の書き方が拙かつた爲めだ。讀み方にも注意すべきである。

五、蕃人の首狩り話

臺灣の生蕃人でも、南蕃の方は蘭領時代から多少の敎化を受け、淸領時代にも恒春のテロソと云ふ處に蕃人學校が設けられてあつた位だから、相當の智識を有つて居る。日本領となつてから一層蕃人敎育に努めたので、彼等の中より官公吏、醫者、會社の事務員など出てゐる。然るに北蕃のアタイアル族と來ると、無邪氣で子供らしい所もあるが、無智で、亂暴で、鳥渡手に負ねない。首狩りをするのは主として此の種の蕃人だ。併し彼等にも天性怜悧なのがあつて夫等は多く酋長となつて居る。

領臺後間もない時のことだが、此の北蕃の或る蕃社の酋長が一族郎黨を率ひて臺北に出て來た折、當時の軍參謀部では彼等を招いだうへ首狩りの惡いことを諄々と說諭して聽かせた。すると酋長はやをら席を起つて咳一咳『我々は何うしても首狩りを罷めることが能きない、勝負を極める時、結婚の時、其他いろ〳〵の場合に他人種の首が必要である、我々の首狩りを惡いといふ日本の軍人も人を殺すではないか、軍人が軍服

の胸に飾つてゐる勳章は何だ、それは人を多く殺した表徴ではないか、我々が他人種を殺しその首を取つて首棚に飾るのもそれと同じことだ』と言つた、と或人から聞いた事がある。

それ程に理義明瞭に言つたわけでもあるまいが、果して斯んな事をいつたとすれば、無智の北蕃人とてさう馬鹿には能きないと思つた。これには軍人も一本參つたわけだ。

六、客棧宿りの苦み

支那の奥地を旅行して始めて客棧卽ち旅館に泊つた時は鳥渡困つた。旅館といつても狹い土間の兩側に板敷きが小高く作られてあるだけで、他には何にもなく、食物は特別に出させたが、咽喉を無難に通るやうな代物でない。夏のことであつたから、其の板敷の上に携帶の毛布を敷いて寢たところ、借りた木枕から盛んに南京虫が這ひ出して來てチクチク螫し、また藪蚊がブンブン唸つて來るので、其の防禦に一夜殆んどまんじりともしなかつた。便所もなく、裏に出て野垂れるといふ始末。

『明け易き客棧に南京虫の難』とは其折の苦吟だ。朝鮮では旅館のことを『歩行客舍』といふが、朝鮮のも支那のと五十歩百歩だ。また南京虫のことを朝鮮ではピンデオと云ふが、此の蟲の多いことも支那と朝鮮と兄弟同士だ。客棧の苦みを知らぬものは共に支那を談ずべからずと言ひたい。



散文詩　或る日の囁き

E　N　生

意中にわたかまる人のことを思ひ浮べて、じつと聯想に耽ると、秋の空のやうに澄んだ私の心に相手の清いまなざしが、にこやかに微笑をもつて靜かにすりよつて來る。

言葉なきうつゝの語らひ、それは病後に白晝の假睡をむさぼるに等しい幻覺である。

そつと手を胸の扉にあてると、その幻覺は恰も一抹の煙のやうにパッと消へて、その刹那に私の疲れた神經が妙に息づまるやうに狂はしく高ぶるのである。

靜かに瞳を開けると、漲り立つる血管の奏樂につれて、微動を感ずるその不可思議な轉身の前に、私はつく〴〵今、『自己の愛』を抱きしむる氣持になる。

綠の木蔭が硝子窓にうつる一室の中の書卓に兩肘をつき、顎をささへたまゝ、心を落ち付けてじつとその夢幻覺の中から意識を喚びおこそうと思つて、努力的にその感情を働かす。

白晝の日の光りはきら〳〵と閃めき、書卓の側の硝子戸を透して、私の疲れた眼に痛々しく泌みこむ。そ

れは恰も情慾を靜止するやうな藥種でも注かれる氣持である。

やがて魅惑的な幻覺から醒めた私は、一本の紙卷煙草に火を點じて、無意識にそれを吹かしながら、永い間大地にふりそゝぐ正午の強い日光と、惱ましい匂ひをはこぶ微風に搖れて居る樹木の綠葉とを眺めてゐると、おのづから心のひきしまるのを覺へて、幽かにゆるゝ若葉の匂ひが、次第に幻覺を破つては、はつきりとした知覺を與へて、身内に湧くなにものかを喚び起してくる。

そうつと瞳を轉じて見ると、名の知れない雜草の大きな葉に、金色にかがやく美しい翅の蜻蛉がまるで吸ひ付くやうにして留つたまゝ、不動の姿勢を保つてゐる。

まるく光つた頭を折々動かしては、やがて時々その金色の美しいほつそりとした翅を左右にひろげる。それがあたかも人間の赤兒がその親に抱かれて靜かに呼吸して居るやうに見ゐる。

若草から發散する植物の匂ひと、太陽の光との中に、無心になつて陶醉して居るやうにも見ゐる。

彼は何を築かうとするのか？私は羨ましい氣持がした………。

靜かな光の中に、無心に、そして自由に、美しい翅をひろげて、何の不平もなく、安らけく生きてゐることの昆蟲のことを考へると、私はたまらなく尊い氣もちで淚ぐましくさへなる。

またその下の赤ちやけた黃い土の上には、無數の蟻がただ一本の自分等に與ゐられた道を、行儀よく、然も整然と列をなしつゝ、せつせと往復して居る。

たゑず囁き、うなづき合ひつゝ、無言の行進曲を奏する彼等は、その間何を云ひあつて居るのか、また何が故に彼等は、そうして一心に忙がしげに働いて居るのか、それを知らうと云ふ考ゑが私の心の中に起るとたゞ不可思儀な微妙な心理に動かされて、ある種の結合を感ずる。

だが、人間の私は、とてもその心理狀態を解し得ない、たゞ愛に滿ちた心の愉悅を感ずるのみだ。

病後の疲れた私の心に、溶けこむやうな自然の靜寂さよ！ 尙じつと目を注けば、その附近には苔のやうなこまかい植物が一面に生へて、一帶がたゞ青色に彩られた美しさに見へる。

自然の中にめぐまれたその植物までが、一本々々、ことごとく獨立して、淸い日光と靜寂との中に、微妙なさゝやきを爲しつゝ、たへまなく呼吸をつゞけて居るのである。

日光と、樹の芽と、昆蟲と、そこには迂潤な人間の氣付かない、人間とは全く別の世界のあることを、私はしみじみと考へ、自分の身内にめぐる血の暖かい流れを、いとほしく感じた。

日光の下に照らし出されたそれ等の一劃の世界が、いかに平和で、いかに美しく、いかに生氣に滿ちて居ることか。たゞ一心に彼等は、自己への自由な正しい行動を絶間なく續けてゐる。

私はまた、長い間ぢつと雜草を見つめ、それから一刻も早くのびやうとしてゐる新芽のくきやかさを見つめる。見つめてゐるうち、私は植物の心を領解したやうな氣持になる。

ふりそゝぐ暖かい日光の方へ葉を向けて、思ふ存分に光線を吸ひ收り、靜かに且安らかに戰いて居る姿は

如何にも彼女の生命を存分に享樂して居るやうに思はれた。

尙も瞳を凝らして居ると、靜寂澄明の境に入つた私の心に、樹の葉が微妙な囁きを以て、その呼吸をせはしく慓はせつゝ、次第に迫つて來るやうに感ずる。

それが次第に女性のやうな優しさを持つて自分等の生活を語つて吳れる。

『自然は僞りがなく親切で、そうして惠みふかうございます。私なぞはかうして每日幸福に、夫丈に、樂しく生きて行かれるのです』。そう言つて囁く。幽かに搖れながら………。

この純粹な靜謐な植物の、生々とした自由な生活に比べて、私たち人間の日日の生活は、いかに不純であり、窮屈であり、そして混亂と苦痛に滿ちた惱ましき事であらう。

事每に虐げられ、自由行動をさへ遮られ、そうして肉體のすべてが、過度な勞働に疲れきつて蒼ざめて居る。併し疲れきつた心に、今し病後の休息を得て、靜かな心になつて、平穩なこの世界の生存を見つめて居ることは、どんなに尊い淚ぐましいものであらう。

その中で私の疲れた肉體にも靜かに血管を流るゝ暖かい奏樂が規則正しく行はれて居る。

斯うしてじつと考へて居ると、秋の空のやうに澄んだ私の心に、一層强靱に、一層微妙に、そして激しい衝動力をもつて迫つて來る何ものかゞある。

何んと云ふ神秘さであらう。何といふ尊さであらう。

考へると、人は厭はしいものでもあり、また戀しく頼もしいものでもある。
病弱な自分は、現在の生活が厭なやうでもあるが、然しそれを措いて他に新らしく行くべき道もないやうに思はれる。神秘な囁きと靜寂な空氣の中にある此の私の心が、どんな風に變化して進んで行くかは、今の私にとつては全く滲めな疑問で、恐らく永久に未知數なのであらう。

たゞ私は、現在のやうなあはたゞしい生活の、過度な疲勞をいやすため、たまには斯うした平穏な時間と塵間の狂はしい雜音を離れた靜かな幽寂な山林的の生活が欲しい、と云ふ氣持がしきりにする。それは生活に疲れた私自身を蘇生せしめるせめてもの慰藉である。

けだるい白晝の強い光を見つめて居た私は、いつかまた、亡び行くやうに思はれる疲れ切つた神經が、忽ちに崩れて、うつゝにまごはしい幻覺に移つて行くのを覺ゐる。

あゝ此の渾身の亂舞を私はどうしたら可いのか？　（一三、九、松山寮にて）

研究會の旨趣目的

滿洲社會事業研究會は其の名稱の如く研究を主さする間接機關でありますが研究さ共にその研究の結果を發表し講演會その他の集會をも催ふし宣傳、鼓吹、報道、論評さ相待つて實行促進に努力しますから直接に自ら實行しないでも漸次實行を促すことになります場合に依り又事業の性質によりては本會自ら實行するやうな事があるかも知れませんが本來の使命は間接的に助長、發達、進歩を計り社會問題に對する正しい理解力を一般に普及したいのであります夫れから本會は會員組織でありまして會員を別つて贊助員及び普通會員さし役員は會長一名、副會長二名、幹事長一名並に幹事若干名で外に顧問、相談役及び評議員若干名を置くことに成つて居ます評議員は贊助員の中より選擧し其の任期は二年です評議員會は會長において必要さ認めたるさき又は評議員五名以上の請求ありたるさき開くのです評議員會は今日までに既に拾回開きました本會の經費は會費及び寄附金を以て之れに充て會費は贊助員毎月貳圓、普通會員同上壹圓です追つて沿線重要地に支部を設けます。

研究會の組織綱領

●支那研究（第八卷）……
上海、東亞文書院支那研究部

●松花江航行權問題の研究……
哈爾賓、滿鐵事務所調查課

●滿洲に於ける砂糖事情……

●滿洲に於ける肉類加工業……

●黑龍江系水路誌（下卷）……
以上滿鐵本社庶務部調查課

●關東の震災さ朝鮮人……
京城、在外朝鮮人事情研究會

◉滿洲日日新聞、遼東新報、大連新聞、泰東日報、新生活、日滿通信、滿蒙、讀書會雜誌、新天地、海友、滿蒙實業彙報、調查時報、滿洲建築協會雜誌、滿洲公論、大陸、日華之貿易、滿洲經濟時報、關東新聞、聖德會會報、(以上は大連)◉大陸日日新聞、奉天新聞、奉天每日新聞、滿蒙經濟新報(以上は奉天)◉調查彙報(長春商議所)◉大乘(上海)◉青島新報(青島)、◉調查彙報(朝鮮總督府)、◉朝鮮地方行政、京城日報、朝鮮新聞、朝鮮及朝鮮人、朝鮮及滿洲(以上京城)◉釜山日報(釜山)◉平南每日新聞、平壤商業會議所月報(以上平壤)◉臺灣時報、臺法月報(以上臺灣)◉臨時產業調查局資料、滿鐵東亞經濟調查局經濟資料、東洋、支那、東京商業會議所所報、愛國婦人、人道、大東公論、週間日本(以上東京)◉東亞經濟研究(山口)◉新續界(大阪)同志社時報(京都)◉福岡日日新聞(福岡)

每月一回發行

定價表

普通號六拾錢、特別號七拾錢

冊數	定價	郵稅
三箇月分	壹圓九拾錢	五錢
半箇年分	參圓八拾錢	郵稅共
一箇年分	七圓五拾錢	郵稅共

▲半年分及壹年分には特別號を含む▲誌代は總て前金拂の事▲郵券代用は一割增

廣告料

等級	半頁	一頁
特等	四拾圓	八拾圓
一等	貳拾五圓	五拾圓
二等	拾五圓	參拾圓
三等	拾圓	貳拾圓

●三回以上は割引可仕候●年極めは特別に御相談可致候
●〆切りは前月二十日限り

大正十三年十月三十一日發行
發行人 山田武吉
編輯人 大內四郎
印刷人 太田信三
印刷所 小林又七支店 大連市大山通
發行所（電話五四二六番）滿洲社會事業研究會
大連市松山町五番地七號
振替口座大連一二三九番

本社＝大連市山縣通（電話代表番號四一八五 四一八六）

大連汽船株式會社

支店（上海黄浦灘路一號、青島葉櫻町十一番地、天津舊德界、安東財神廟街）

額椽油畫繪葉書
舶來萬年筆直輸入
トウンプかるた類

大連市浪速町三丁目

㊤北

北野文房具店

電話六六四一番

支店 大山勸商場

電話三〇二二番

輸出入

金物、電機並機器、自動車ロープ、ベルト、鑛油、SKF
ベアリング、其他工場並船舶用品
石材、ドロマイト、木材、セメント、煉瓦其他建築材料
麥粉、砂糖、海産物其他食料品
洋酒、毛糸、蓄音器其他洋雜貨、

土木、建築

FC

大連市山縣通二百十三番地

福昌公司

電話代表番號　七一七一番
振替貯金口座大連一〇六〇番

倉庫　一般倉庫業務

大連市寺内通二十九番地（電話六〇六三番）

保險　豐國火災、大阪海上火災、日本共立火災
ゼ、ノース、ブリチシ、エンドマーカンタイル各保險會社代理店